

平成25年度  
自治協議会の運営基盤強化に向けた支援事業  
取組み事例集

平成26年3月

福岡市

# 目 次

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| I はじめに                | P1  |
| II 本事業の概要             | P1  |
| III 取組み事例             |     |
| 1 テーマ「人材の発掘・育成」       |     |
| （1）東区名島校区自治協議会        | P2  |
| ～「名島校区のまちづくりを考える」～    |     |
| （2）南区西高宮校区自治連合会       | P9  |
| ～みんなが出番のまちづくり～        |     |
| （3）城南区片江校区自治協議会       | P16 |
| ～これからの地域に本当に必要なものは何か～ |     |
| （4）博多区自治協議会長連絡協議会     | P23 |
| ～住みよいまちをみんなでつくるために～   |     |
| 2 テーマ「町内会への加入促進」      |     |
| （1）中央区高宮校区自治協議会       | P29 |
| ～コミュニティ活動への全員参加をめざして～ |     |

### 3 テーマ「魅力ある校区づくりを目指して」

- (1) 西区金武校区自治協議会 P40  
～ようこそ金武校区へ～

- (2) 東区松島校区自治協議会 P47  
～ 現状を踏まえ10年先の松島校区の将来像を考える ～

### 4 テーマ「組織体制の見直し」

- (1) 東区香椎下原校区自治協議会 P56  
～より連携のひろがりのある体制づくりに向けて～

- (2) 東区和白校区自治協議会 P66  
～より連携のひろがりのある体制づくりに向けて～

### 5 テーマ「高齢化等地域の課題に対応する新しい自治組織の創造」

- (1) 早良区四箇田校区自治協議会 P75  
～自治協議会の委員会組織を見直そう～

### 6 テーマ「自治会・町内会の活性化」

- (1) 東区千早西校区自治協議会 P82  
～よりよい町内会運営に向けての課題の共有～

## I はじめに

福岡市では、平成16年3月に、昭和28年から50年間続いた町世話人制度を廃止し、平成16年4月から自治協議会制度を開始しました。

現在、市内の147校区・地区に自治協議会が設立され、防災や防犯、交通安全、子どもたちの健全育成、環境美化などのさまざまな活動を通じて、住民が安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに取り組んでおられます。

一方で、住民自治意識の希薄化や活動への参加者の減少・固定化、役員の担い手不足、自治会・町内会の加入率の低下などの問題が深刻な状況にあります。

そのような課題の解決を図るため、平成25年度に「自治協議会の運営基盤強化に向けた」ワークショップや勉強会などが各校区で開催されました。

それらを取りまとめた取組み事例集を、今後の地域課題の解決のための一助になればと思い、作成しております。

この「取組み事例集」が、皆さまの活動のお役に立てれば幸いです。

## II 本事業の概要

### 1 目的

「自治会・町内会の加入率の低下」や「役員の担い手不足」といった多くの地域が抱える課題について、自治協議会における原因分析や解決に向けた対応策の検討の取組みを支援することにより、地域自らが課題解決に向けて踏み出すことを促すとともに、そこで得られた有効なノウハウや工夫を全市で共有することにより、自治協議会の運営基盤の強化を図る。

### 2 事業内容

ワークショップや勉強会の開催、記録等の作成にあたり、区役所が運営及び経費負担等の支援を行うもの。

また、7区分の取組みを「事例集」として取りまとめ、全市で共有し、活用を図る。

### Ⅲ 取組み事例

#### 1 テーマ「人材の発掘・育成」

##### (1) 東 区 名 島 校 区 自 治 協 議 会

##### ～「名島校区のまちづくりを考える」～

名島校区のデータ（平成 25 年 9 月 30 日現在）

○人 口 15,651 人（男 7,626 人，女 8,025 人）

○世 帯 数 6,829 世帯

○自治会・町内会数 32 団体

○校区の特徴

名島校区は、神功皇后ゆかりの天然記念物「檣石（帆柱石）」や小早川隆景が構築した名島城址、リンドバーグも訪れた名島水上飛行場、岩見重太郎生誕の地など、歴史上重要な役割を担った地域で、歴史的資源の豊富な校区です。

#### ① テーマの選定及びその背景

名島校区では、公民館や小学校体育館でのサークル活動が盛んであるが、自治会や自治協議会等の活動には、まだまだ関わりが少ない方が多い。

地域活動への「関心」を高め、「参加」し、将来の「担い手」への人材発掘という段階を経ていくなかで、参加が難しい若い世代の方々の意見を聞く場をつくり、自治会や自治協議会などの地域コミュニティの組織や取り組みを知るとともに、各種団体の方々と知り合い、その関係を基に地域活動への「関心」・「参加」を促す。

そのため、「名島校区のまちづくりを考える」をテーマにワークショップを開催し、現状把握と対応策の検討を進めることとした。

#### ② ワークショップの開催状況

外部講師として貞清 潔氏（福岡市地域活動アドバイザー）をお招きし、自治協議会・公民館サークル・PTA・子ども会育成連合会・青少年育成連合会が参加して、名島公民館でワークショップを2回開催した。

|     | 日 時                | 主な内容           | 参加数  |
|-----|--------------------|----------------|------|
| 第1回 | 9/26（土）15:00～17:00 | 各自治会等の現状と課題    | 45 人 |
| 第2回 | 11/9（土）15:00～17:00 | 目指すべき姿・目標像について | 48 人 |

## ア 第1回ワークショップ

### (ア) プログラム



- 1 開会・あいさつ
- 2 校区の現況と取り組み
- 3 <ワークショップ>
  - ①プログラムの紹介
  - ②参加者紹介とグループ分け
  - ③校区を思い起こす
  - ④名島校区の現状は？
  - ⑤発表
- 4 閉会

### (イ) 校区の現況と取り組みについて

自治協議会の概要や取り組みについて、明石公民館主事より説明しました。



### (ウ) ワークショップの成果

#### ㊦ 校区を思い起こす

白図を使って校区の主要な資源を着色し、校区の骨格をなす道路や鉄道等、歴史的な資源など、名島の特徴を知り合いました。

#### ㊩ 名島校区の現状は？

自治協議会等の取り組み、名島校区の資源などを踏まえ、校区の現状（魅力と問題点）を知り合い、共有しました。

まず各自で、付箋紙に、日ごろ感じている名島の良いところ（赤）、気になること（青）を書き出しました。（各3枚程度）

その後グループで、一人ひとりが、良いところと気になることを紹介し合い、付箋紙を模造紙に置いていきました。

付箋紙を模造紙に置き終わったら、同じような内容をまとめ、タイトルをつけました。



■名島校区の良いところ・気になるところのまとめ

| 良いところ                                                                                                                                                                             | 現状                                       | 気になるところ                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>自然がいっぱい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多々良川, 名島海岸, 丘 (山)</li> <li>・野鳥</li> <li>・公園</li> <li>・散策</li> </ul>                                                        | <b>自然環境</b>                              | <b>マナーが悪い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ, たばこのポイ捨て</li> <li>・名島海岸のごみ</li> </ul>                                                                                                                                                                                               |
| <b>歴史のまち</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名島城址等の歴史的な遺産</li> <li>・古い住宅</li> <li>・散策</li> </ul>                                                                          | <b>歴史</b>                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|                                                                                                                                                                                   | <b>安全・安心<br/>(道路)<br/>(不審者)</b>          | <b>住宅地内の道路の狭さ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路, 通学路の危険</li> <li>・抜け道</li> </ul> <b>不審者</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯のない暗い場所</li> </ul>                                                                                                                       |
| <b>子育ての環境が良い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一小一中</li> <li>・子ども達を中心にした活動</li> <li>・地域の方々の見守り</li> </ul>                                                               | <b>子ども教育</b>                             | <b>一小一中への不安</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生活への不安</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                   |
| <b>地域活動が活発</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事が盛ん</li> <li>・公民館活動が盛ん</li> </ul>                                                                                      | <b>地域活動</b>                              | <b>地域活動の見直し</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事, イベントが多い</li> <li>・新旧住民の交わりの少なさ</li> </ul> <b>役員の担い手</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の高齢化</li> <li>・役員の引き受けて</li> </ul> <b>東西に長い校区</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名島⇄松崎</li> <li>・国道や鉄道による分断</li> </ul> |
| <b>交通の便が良い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR, 西鉄, 幹線道路</li> <li>・天神, 空港へのアクセスが良い</li> </ul> <b>買い物に便利</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・銀行, 郵便局</li> </ul> | <b>利便<br/>(公共交通)<br/>(アクセス)<br/>(店舗)</b> | <b>商店街の衰退</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店がさびれている</li> <li>・スーパーがない (撤退)</li> </ul>                                                                                                                                                                                             |

## イ 第2回ワークショップ

### (ア) プログラム



- 1 開会・あいさつ
- 2 ワークショップの目的と  
プログラム
- 3 参加者紹介・グループ分け
- 4 前回の振り返り
- 5 現状を確認する
- 6 名島の目指すべき姿・目標像  
を考える
- 7 閉会・あいさつ

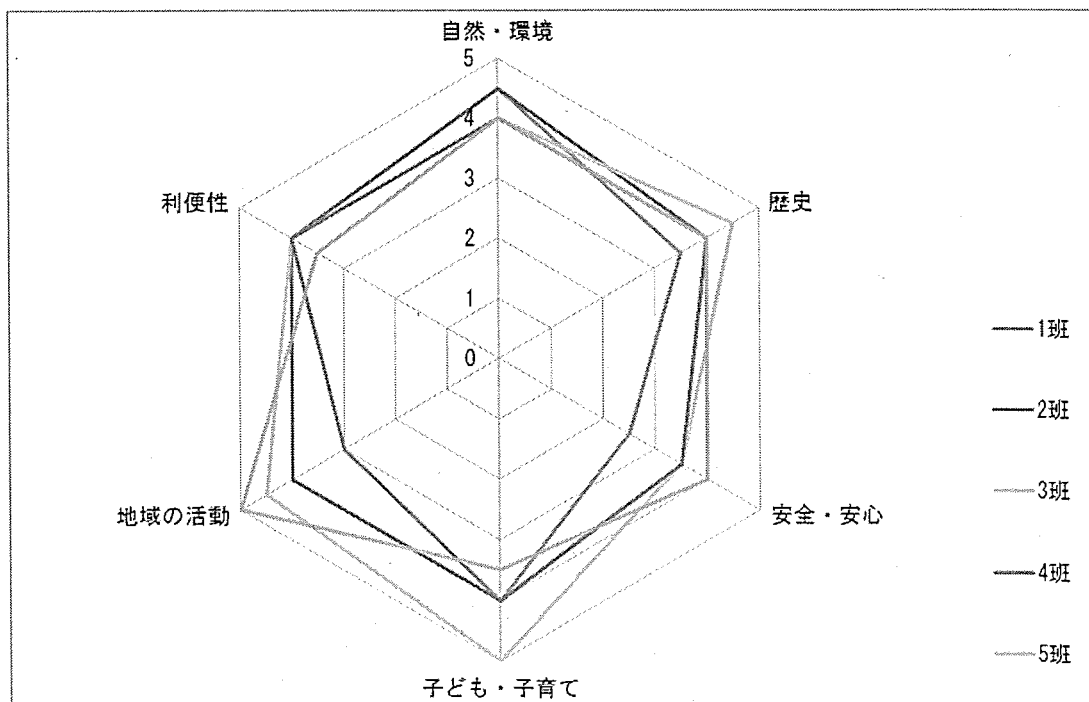
### (イ) ワークショップの成果

#### ① 現状を確認する

前回の現状のまとめを基に設定された6つの切り口（「自然・環境」「安全・安心」「人のつながり」「子どもの育成」「健康・福祉」「利便施設」）ごとに評価とその理由をグループで話し合い、校区の現状を再確認しました。

まず個人で6角形のシートを使って、現状に対する評価を5点満点で行いました。

その後、グループで高い評価（良い）の理由、低い評価（悪い）の理由を話し合い、ポストイットに記録しながら、グループとしての評価をまとめました。



## ウ 名島の目指すべき姿・目標像を考える

現状の確認（評価とその理由）を踏まえ、将来の目指すべき姿・まちづくりの目標像を考え、話し合いました。

まず個人で「〇〇な名島になったらいいなあ」「〇〇な名島にしたい」など、名島の目指す姿・目標像を思い描いて、ポストイットにそれぞれ3枚以上書き出し、次にグループ内でそれぞれが思い描く名島の目指す姿・まちづくりの目標像を伝え合いました。

グループ内で同様の考え方の目指す姿・まちづくりの目標像を分類し、「〇〇な名島」「〇〇が〇〇している名島」など、具体的な状況やシーンが思い浮かぶような目標を分類ごとにタイトルをつけました。

### ■名島校区の目指すべき姿・目標像のまとめ

| 各班のまちづくりの目標                                                                          | 項目（テーマ）                |
|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 自然を大切にする町に<br>美しいまち名島<br>自然豊かな名島<br>名島の付加価値は自然です                                     | 自然を残す<br>美しい環境づくり      |
| 歴史を誇れるまち名島                                                                           | 歴史を誇る                  |
| 防災を考える                                                                               | 防災を考える                 |
| 夜でも明るい町に<br>安全なまち名島<br>長く住みたい名島<br>住みやすい名島                                           | 明るく安全に<br>歩きやすく        |
| 子ども会の盛んな町に<br>誰もが参加するまち名島<br>笑顔あふれる名島                                                | 子ども会の活動活性化             |
| 活発な地域活動の名島（責任を持った）<br>信頼・キズナが看板・財産（資本）です<br>世代間のコミュニケーションがとれる町に<br>あいさつできる名島<br>なじま星 | 世代間の交流<br>参加しやすい地域活動   |
| 高齢者も買い物できる町に<br>買い物しやすいまち名島<br>便利な名島<br>小さいお願い                                       | 高齢者にも便利な環境づくり<br>（買い物） |

## エ 地域活動への関心を高める、参加を促すための一言

現状を知り合い、目指すべき目標について話し合ったことを踏まえ、多くの住民の方々に地域活動への関心を高める、また参加を促していくために大切なことや必要なことを一言書き出しました。

### ○声かけ

- ・声かけを続ける
- ・各町内でこれまで以上に声かけ合う（体育祭並に）

### ○伝える

- ・参加した人の楽しい感想をみんなに伝える
- ・名島公民館行事に参加する
- ・参加していない人に楽しいことを伝えていくこと

### ○広報

- ・大変難しいけど、情報発信と声かけを懲りずに
- ・もう少し回覧板の活用を
- ・広報を積極的に（公民館便り等で）
- ・行事の周知が回覧のみのものが多く、見流すことが多いと思う。回覧も遅い

### ○子どもを中心とした活動

- ・子ども参加型にする
- ・子どもの頃から地域に関心を持ってもらうために、子ども会の地域参加を促進する

### ○楽しめる行事の工夫

- ・誰でも参加できて楽しめる行事を企画する

### ○組織運営、行事の見直し

- ・組織、行事を抜本的に見直す
- ・その人の能力が活かせる分野の提供にたける
- ・担当部署をつくる
- ・参加に対してのインセンティブ+指名、割り当て
- ・おやじの会スタイルで強制しない範囲で誘い続ける
- ・メリット・デメリットをしっかりと伝える（思い違い、デマが多い）



### ③ まとめ

地域課題の解決に向けて地域活動の活性化が求められるなか、地域自治組織の体制強化は大きな課題となっています。

公民館サークルやPTA、子ども会育成会などの方々は、公民館に出入りし挨拶程度はあるものの、自治協議会の役員の方々と面と向かって話し合う機会は少ない状況です。しかし、これからの地域活動を担うことになる世代の方々であり、そのかたがたの校区への思いや意見を知ること、また自治協議会の役員の方々と知り合うことは、よりよい地域づくりに向けた意識の共有をはじめ、人材の発掘など、これからの校区のまちづくりを話し合っていく環境づくりの一つとして、体制強化につながる取り組みとなったと考えられます。

今回のワークショップを通じて、基盤強化に向けて得られたことを以下に整理します。

#### ○話し合う場づくりと参加の呼びかけ

今回のワークショップは、若い世代の方々に名島校区を知ってもらい、また、どんな思いを抱いているのかを知り合う、話し合いの場を設けました。また参加者の募集には、チラシと実際の声掛けにより呼びかけ、普段参加しない若いお母さん方の参加もみられました。

子どもを中心とした活動に対する人の優しさを指摘する意見もワークショップでは多く聞かれ、話し合う場と参加の呼びかけ（お誘い）の重要性が改めて示されました。

#### ○名島校区、自治協議会などの取り組みを知り合う

これまで校区が取り組んでいる活動を紹介するとともに、ワークショップの位置プログラムの中で、地図を使った名島の思い起こすグループ作業を行いました。

今まで知らなかった校区の歴史について自治協議会の役員の方々が熱心に語り、若い方々が聞き入りました。また、世代の違いによる現状の感じ方の違いなど、話して初めて気づくことも多く、話し合うことによって改めて気づく、知り合うことの重要性が示されました。

#### ○皆が共通に思える目標の実現に向けた取り組みを語り合う

若い方々を交えて校区の将来のことについて話し合う機会が少なかったこともありますが、世代に共通して、歴史や安全・安心、住みよいまちづくりを求めており、皆が共通に思える目標を見出せました。その実現に向かって、今、自分にできることは何か、考えるきっかけになっていくことを期待していきたいと考えます。

#### ○活発な行事と多すぎる行事を見直す

名島校区では、自然や歴史をはじめ、子どもを中心にした交流など、活発に活動が行われています。ただし、今回のワークショップでは、そうした活発な行事ゆえにその負担も指摘する声も聞かれました。

若い世代の方々にも名島校区への関わりを多く持ってもらうためにも、良いところは継承し、省くことができることは省くことも求められています。老いも若きも素直に意見が言える環境をつくり、さまざまな方の出番や居場所をつくることで、さらなる校区への理解や地域活動への新たな参加も期待されると思われます。

## (2) 南区西高宮校区自治連合会

### ～みんなが出番のまちづくり～

西高宮校区のデータ（平成 25 年 9 月 30 日現在）

○人 口 17,342 人（男 7,822 人、女 9,520 人）

○世 帯 数 8,199 世帯

○自治会・町内会数 28 団体

○校区の特徴

- ・都心部に近く西鉄天神大牟田線平尾駅・高宮駅に隣接した交通利便性の高い地域。
- ・都心に近い割には緑が多く交通の便もよいため、マンションが数多く建設されている。
- ・人口は区内全 25 校区中で 1 番多く、人口密度も 1 番高い。世帯数は 2 番目に多い。
- ・町内会数においても 25 校区中で 1 番多く、28 町内ある。
- ・過去 10 年間（2000～2010 年・国勢調査ベース）で人口が 11.7%増加。（南区 1.9%増）。
- ・西高宮小学校の児童数(1,045 人)は、区内全 25 校区中、最も多い。

#### ① テーマの選定及びその背景

西高宮校区には、28 団体の町内会があるが、役員のなり手探しに苦慮している町内会も多く、地域活動の維持・活性化のためにも、次代を担う人材（人財）の発掘・育成の推進を校区課題のひとつに位置づけていた。

そのため、「役員の担い手づくり～みんなが出番のまちづくり～」をテーマにワークショップを開催し、役員等の現状認識の共有を図るとともに今後の対応策の検討を進めることとした。

#### ② ワークショップの開催状況

外部講師として十時 裕氏（福岡市地域活動アドバイザー）をお招きし、各町内会、各種団体から 1～2 名が参加して、西高宮公民館でワークショップを 3 回開催した。

|       | 日 時                 | 主な内容                | 参加数  |
|-------|---------------------|---------------------|------|
| 第 1 回 | 9/24（火）19:00～21:00  | 参加者の関係づくり、地域活動の棚卸し  | 54 人 |
| 第 2 回 | 10/25（金）19:00～21:00 | 現状・課題について意見交換・検証    | 46 人 |
| 第 3 回 | 11/28（木）19:00～21:00 | 今後あるべき活動について意見交換、提案 | 39 人 |

## ア 第1回ワークショップ

### (ア) これからのまちづくりのシナリオ

講師によるパワーポイントを使った地域活動の現状、対話（ワークショップ）の重要性を説明

- ・地域活動への期待（共働きの必要性）
- ・みんなの出番、みんなの安心
- ・対話による地域課題の解決

（資料1「ワークショップの意義」「対話の重要性」 P 1 3 参照）

### (イ) 参加者の関係づくり（グループ分け、自己紹介）

（資料2 「グループ分け」 P 1 3 参照）

他己紹介シート（似顔絵も入り）を作成し、紹介を行った。

※参加者には、「気が和めた」と好評であった。

### (ウ) 地域活動を見直す（講師から説明、グループワーク）

- ・アンケートに見る地域活動

市民の地域活動アンケートの予測クイズ（地域活動の評価と参加度）

### (エ) 地域の動きの把握（グループワーク）

- ・西高宮の地域活動の棚卸

校区活動と町内活動、課題を出し合った。

（資料3「西高宮地域活動」、資料4「課題一覧表」 P 1 4 参照）

（気づき）

- ・西高宮校区の特徴として、町内会の独自の活動が少なく、自治協議会を中心とした校区全体の活動・事業が多い。特に夏から秋にかけての行事が目白押しである。
- ・校区の問題として担い手不足が浮き彫りに。



## イ 第2回ワークショップ

### (ア) 前回の振り返り、前回のグループワークを元に作成した「課題一覧表」、【西高宮地域活動】を元に講師が説明

（資料3「西高宮地域活動」、資料4「課題一覧表」 P 1 4 参照）

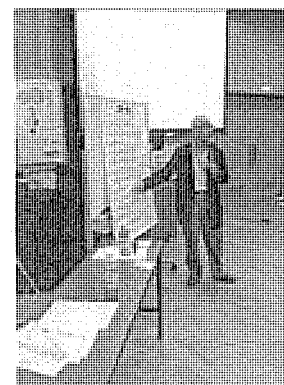
### (イ) グループ分け、自己紹介

### (ウ) 地域活動の現状（課題）

講師が説明

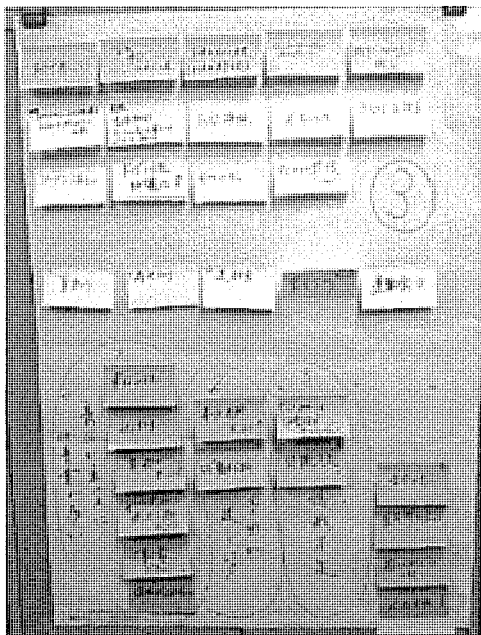
- ・低迷、苦慮している（課題を見る）
- ・負のスパイラル検証（資料5「負のスパイラル」 P 1 4 参照）

※負のスパイラルの説明の時は、会場からのうなずき、ため息の声が上がった。



(エ) 今後あるべき活動と問題点 (グループワーク)

【結果】



(今後の残したい活動として多かった意見)

※各自2事業まで選出

|    |                |
|----|----------------|
| 1  | 運動会            |
| 2  | 夏まつり           |
| 3  | 清掃             |
| 4  | 防犯・防災・安全・パトロール |
| 5  | 廃品回収           |
| 6  | 通学路見守り         |
| 7  | 新池まつり          |
| 8  | ふれあいネットワーク     |
| 9  | 老人クラブ活動        |
| 10 | もちつき           |

(担い手不足の問題点での意見)

住民が無関心

協調性の欠如

認識不足

やることが多い

面倒

手当が少ない

自分の時間をとられる

夫婦ともに働いているので忙しい・時間がない

若手の参加が少ない

利己主義の増大

人の世話までしたくない

必要性や魅力を感じない

責任が重い上に仕事量が多い

大変そう

自分の生活が忙しい(利己的)

出ごとの多い

転勤がある

マンションが多い

など

ウ 第3回ワークショップ

(ア) 前回の振り返りと前回のグループワークを元に作成した「苦慮している課題」「改善テーマ」を講師が説明。

(資料6 「苦慮している課題と改善テーマ」 P 1 4 参照)

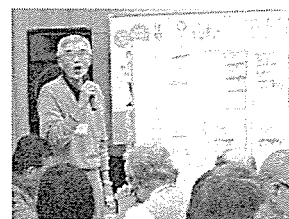
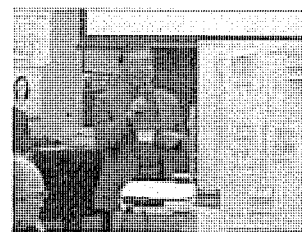
(イ) グループ分け, 自己紹介

(ウ) 改善テーマについてグループワーク (ワールドカフェ方式)

(資料7 「ワールドカフェ」 P 1 5 参照)

## (エ) 発表 各グループの代表者が発表

| 改善テーマ                | グループでの意見のまとめ                                                                          |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 仕事、出事を減らす            | 仕事を楽しむ                                                                                |
|                      | 仕事を分担しありがたい一言を                                                                        |
|                      | 時間を決め会議の準備をして臨む                                                                       |
| 見合った報酬               | 町内会長、各種団体会長、条件が相違するので、一律に考えるのは、難しい。報酬問題は難しい。<br>町内会の戸数が平均するように区割りをする。その上で平均化した報酬に変える。 |
| 活動の見直し               | 校区行事を減らす。運動会、夏祭りを2年に1回にしては(予算が楽になる。マンネリ化を防ぐ)。                                         |
|                      | 子どもは全員子ども会員に                                                                          |
|                      | 団体の事業のPR                                                                              |
| 交流、知り合う<br>コミュニケーション | あいさつ                                                                                  |
|                      | 子どもが自動的に子ども会へ入会する仕組みを                                                                 |
|                      | 行事後の活動報告をしっかりとやる                                                                      |
| 広報、発信(楽しく)           | ホームページを開設するために、自治連合会が音頭を取り、作成する若手を見つけ、早くとりかかりたい。                                      |
|                      | 難しい問題であるが、区役所からの情報開示を(賛否両論)                                                           |



## ③ まとめ

### ア 成果

- ・「役員の担い手づくり」をテーマに、普段議論ができない地域コミュニティの根本に関すること、また、議論しにくい報酬やイベントの多さなどについて、和やかな雰囲気の中、自治協、町内会、各種団体の役員等で話し合えた。
- ・対話の重要性を学び、ワークショップ形式を経験したことは今後の活動の参考になったのではないかな。
- ・「行事の回数を検討しよう」「会議を短くしよう」等これまで触れられなかった事柄についての意見に対し、多くの共感の声が出ていた。

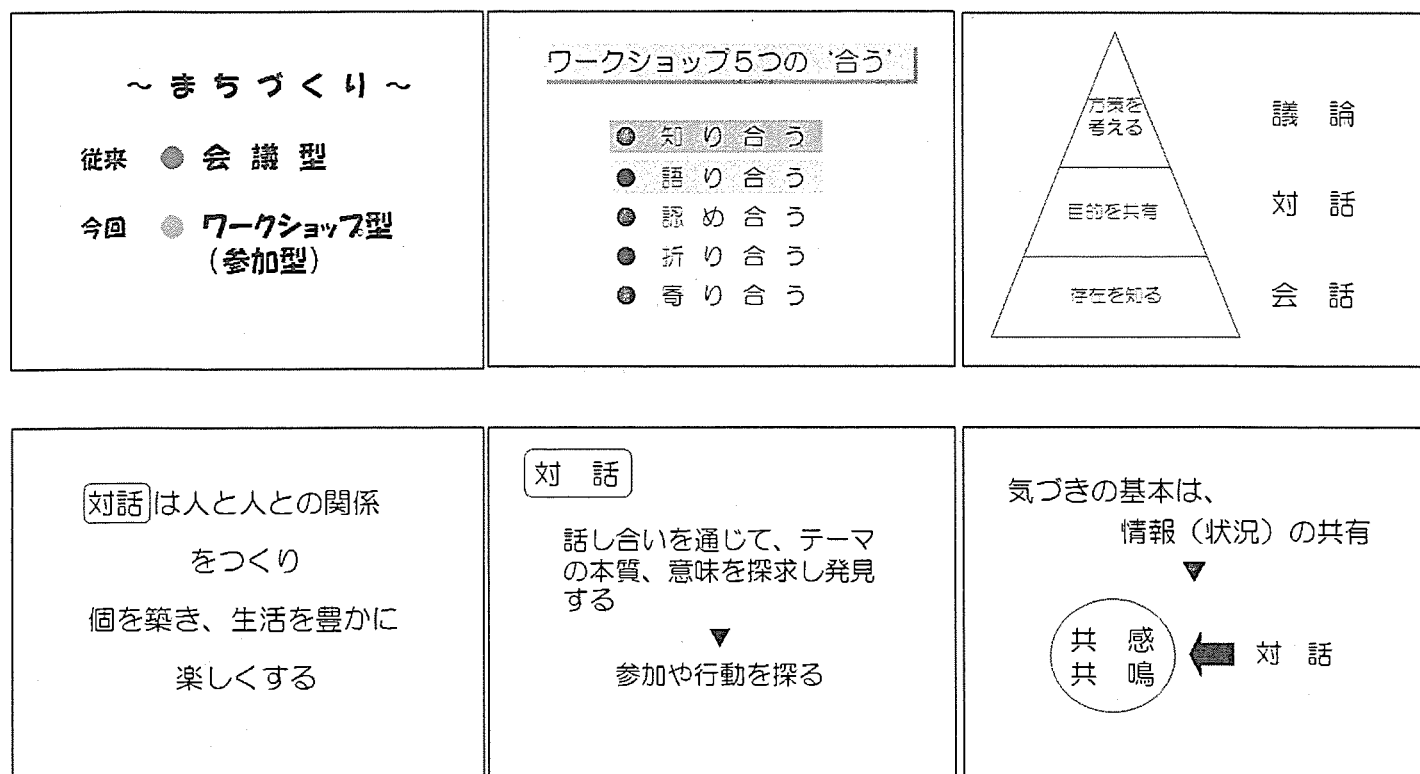
### イ 今後の取り組みについて

- ・参加者のグループワークでの意見、アイデアの段階ではあるが、今後の取り組みに関する事項が多く出された。どのように実現していくかという課題はあるものの、見直そうという機運が高まっている。

### ウ 取り組みに必要な作業(準備)と役割分担について。

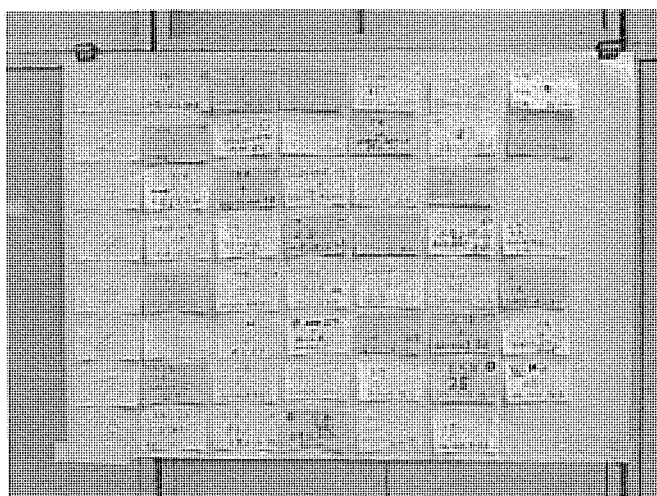
- ・参加の呼びかけを町内会、各種団体の会長とそれぞれの会長からの推薦者1名に行い、現在苦勞している立場からの意見(つぶやき)と今後活動を担われるであろう人の意見を伺うこととした。多数の参加をいただいたが、計3回のワークショップを1か月間隔で全て平日夜に開催したこともあって、徐々に人数が減った。振り返りの資料等を次回開催前にお配りするなど次回参加を促すフォローが必要でなかったかと思う。

【資料1】（ワークショップの意義、対話の重要性 など 講師説明の一部）



【資料2】（グループ分け）※毎回グループ分け直後に（自己）紹介

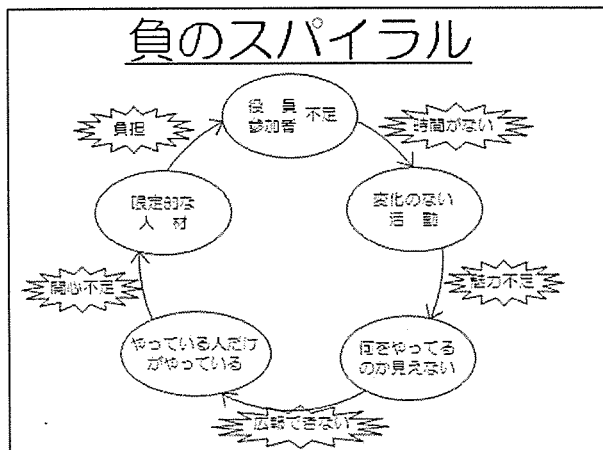
|     | 班数 | 分け方                     | 留意点                                                                       |
|-----|----|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 9  | ・在住年数<br>・地域の評価         | ○話しやすい場、間を設ける<br>○想い（つぶやき）を引き出す。<br>1. 同じ町内にならないように<br>2. 点数、在住年数がばらけるように |
| 第2回 | 8  | ・役員になったきっかけ<br>・地域活動歴   |                                                                           |
| 第3回 | 7  | ・議論したい改善テーマ<br>(第2希望まで) | 1グループ5～6名<br>極力、全テーマ1グループは作る。                                             |
|     |    | 町内・性別は共通                |                                                                           |



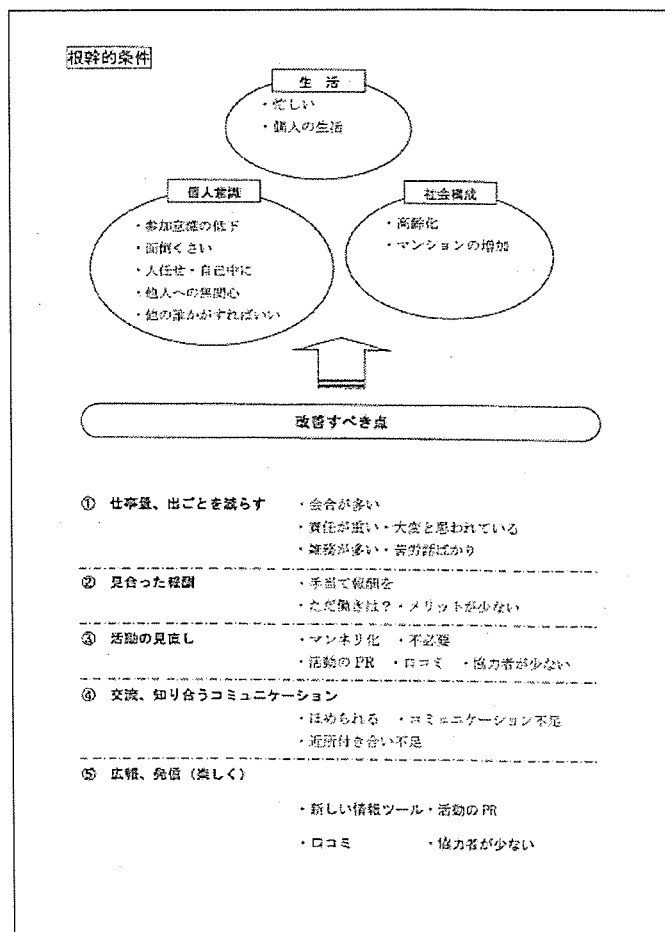
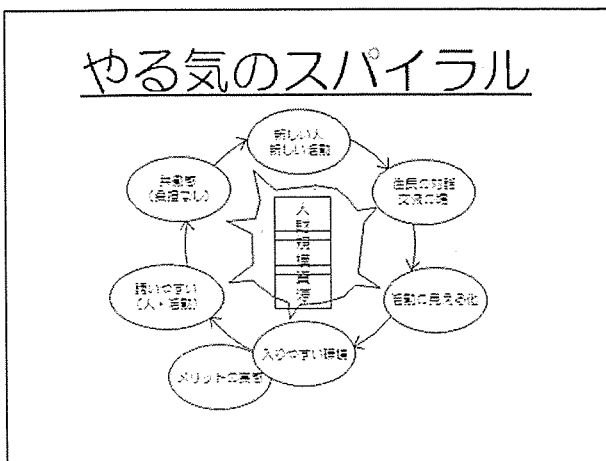


## 課題一覧表

- ① 行事、活動への参加が少ない。
- ② 人と人とのコミュニケーション不足。
- ③ 行事が多い。
- ④ 単身、高齢者が増えている。
- ⑤ 集会、会議の場所が少ない。
- ⑥ 加入率が低下している。
- ⑦ 後継者不足(役員のなり手)。
- ⑧ 会合が多い。
- ⑨ みんな無関心。
- ⑩ 役員に仕事、役割が集中。
- ⑪ 経費が不足。
- ⑫ 子ども会への参加の低下。
- ⑬ 交流がない。



(やる気のスパイラル)

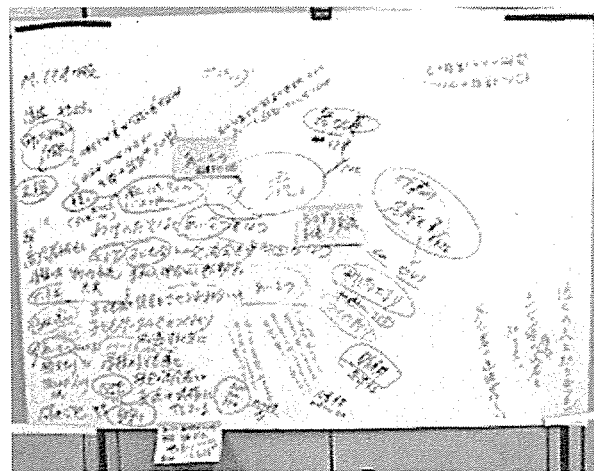
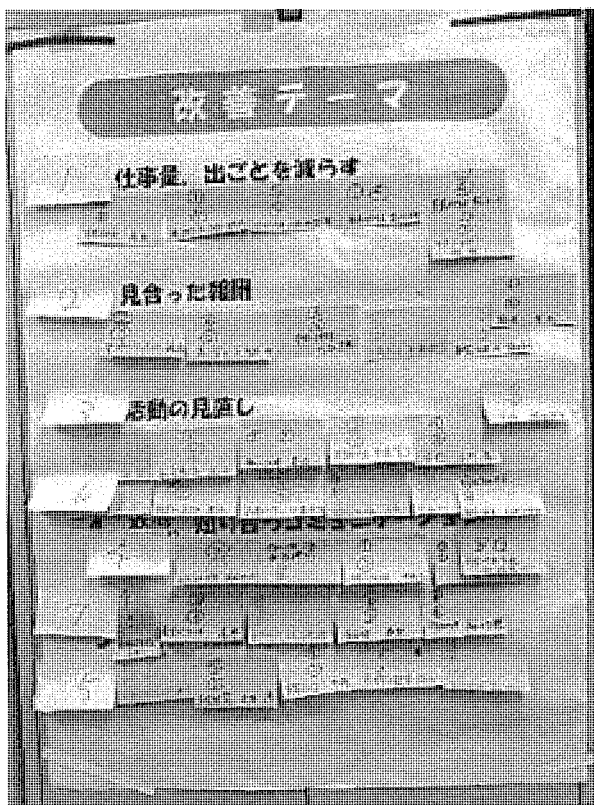


## 【資料7】(ワールドカフェ)

ワールドカフェとは、簡単な手順でリラックスした雰囲気を作り出し、自由に意見を出し合えるようにする話し合いの手法。

参加者をカフェテーブルのような小グループに分け、時間を区切り、たびたびメンバー交換をしながら、多様な会話と組み合わせの偶然性を楽しむもので、企業や大学、まちづくりへの導入が盛んに行われている。

今回は第3回目の「改善テーマ」についてのグループワークで活用。



### (3) 城 南 区 片 江 校 区 自 治 協 議 会

～ これからの地域に本当に必要なものは何か ～

片江校区のデータ（平成 25 年 9 月 30 日現在）

○人 口 11,712 人（男 5,940 人，女 5,772 人）

○世 帯 数 5,847 世帯

○自治会・町内会数 14 団体

○校区の特徴

福岡大学に隣接し大学生の割合が多いため、高齢化率は城南区で 3 番目に低いが、「65 歳以上」の人口は、平成 13 年の 12.6%から、平成 25 年は 19.3%と、急激に高齢化が進んでいる。

公共施設の市民センター・図書館・消防署・市民プールなどを有しており、特に市民センター横の西の堤池は、多くの人々の憩いの場として親しまれている。

地域活動も活発で、夏祭りと隔年で行われている文化祭では、各町対抗のステージ合戦が行われ、14 町すべての自治会・町内会が歌・踊り・演奏・マジック等それぞれ工夫を凝らしてステージを盛り上げている。

#### ① テーマ選定及びその背景

地域活動（人材育成）は町内が基本

片江校区では、平成 19 年度より「あなたと共に拓くコミュニティ」をスローガンとして、自発的に校区の将来を担う人材育成に取り組んできた。更に、平成 24 年度には人材育成を継続的に行っていくため、自治協議会内に「人材育成委員会」を立ち上げ、地域活動及び人材育成は町内が基本との結論に至り、4 つの短期目標を作成した。

##### 【短期目標】

- ① 町内同士、お互いを知り合おう。
- ② 町内交流を活発にしよう。
- ③ 町内活動を楽しんでやろう。
- ④ 役割を分担し、引き継ぎをスムーズに。

そのため、平成 25 年度は「これからの地域に本当に必要なものは何か」をテーマに町内が活性化するアイデアを、各町単位のワークショップ形式で話し合った。

〈各町の詳細は、資料 1 「片江自治協ニュース『かけはし』 P 2 0 参照〉

## ② ワークショップの開催状況

講師：佐々木 喜美代 氏（特定非営利活動法人 アジアン・エイジング・ビジネスセンター 上席研究員）

山内 泰 氏（NPO法人ドネルモ 代表）

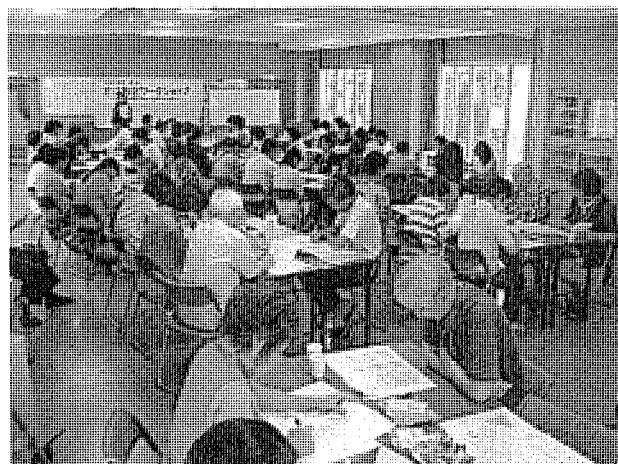
開催場所：片江公民館 講堂

|     | 日 時                  | 主な内容         | 参加数  | 対象者                   |
|-----|----------------------|--------------|------|-----------------------|
| 第1回 | 7/27(土) 14:00～16:00  | 片江校区の現状把握    | 57 名 | 隣組長・各町委員<br>(各町三役以外)  |
| 第2回 | 10/1(土) 10:00～12:00  | ソンミサン・マウルゲーム | 50 名 |                       |
| 第3回 | 10/26(土) 10:00～12:00 | 片江校区の現状把握    | 59 名 | 1・2回出席者以外<br>(各町三役も可) |
| 第4回 | 12/7(土) 10:00～12:00  | ソンミサン・マウルゲーム | 56 名 |                       |

### ア 第1回ワークショップ

#### (ア) プログラム

- 1 開会・あいさつ
- 2 グループ（町別）で自己紹介
- 3 <講義>
  - ① 福岡市の歴史と課題把握
  - ② データで見る  
片江校区の過去・現在・未来
- 4 閉会



#### (イ) アンケート結果（第1回参加者）

◎ 地域が抱えている課題は？

| 高齢化   | 交流不足  | 役員不足  | 参加者不足 | 交通安全問題 | 公園問題 | 少子化  | わからない | その他   |
|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|-------|-------|
| 26.9% | 16.4% | 11.9% | 10.5% | 6.0%   | 3.0% | 1.5% | 13.4% | 10.5% |

〈主な意見〉

- ・高齢者が多くなっている。
- ・単身高齢者が増えていることもあり、交流が少なくなっている。
- ・昔からの住民と新しく転入してくる住民との交流がない。

#### (ウ) 考察

◎ 片江校区は福岡大学の学生が多く居住しているため、数字には表れにくいが高齢化が進んでおり、単身高齢者が増えている。そのため、町内をより活性化し、「きょういく（今日、行くところ）」「きょうよう（今日の用事）」を考えていく必要がある。

また、「きょういく」「きょうよう」を考え、環境をつくることで、互いに知り合い交流を図ることができ、将来の人材育成に繋がっていく。

※ 第2回ワークショップで具体的に町内を活性化するアイデアを考えていく。

## イ 第2回ワークショップ

### (ア) プログラム

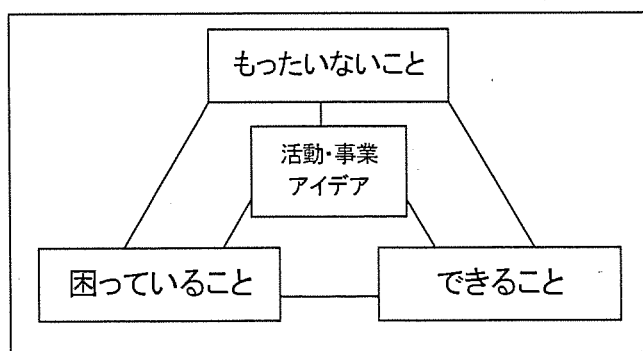
- 1 開会・あいさつ
- 2 <ワークショップ>  
ソンミサン・マウルゲーム
  - (1) ソンミサン・マウルの説明
  - (2) ゲーム
    - ① 地域でもったいないこと
    - ② 地域で困っていること  
あつたらしいなと思うこと
    - ③ ①・②を組み合わせる事業を作る。
    - ④ 自分にできること
- 3 発表
- 4 閉会



### (イ) ソンミサン・マウルとは？

韓国ソウル市にある地域で、平成6年に25世帯の住民が自分たちの必要性から、住民の資金と力で共同運営の設備の整った保育所を作った。この取り組みを発端として、人と人とのつながりを広げ、現在では1,200人以上が参加し、生協や図書館の運営など70以上の地域事業を行っており、「やりたいことが実現してしまうまち」として韓国の住みたいまちNO.1になっている。

### (ウ) ソンミサン・マウルゲーム

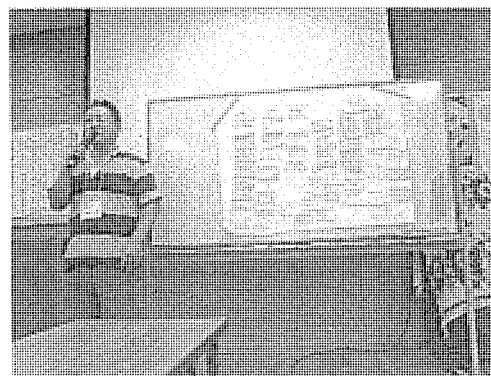


- ① 各町のもったいないことやものを黄色のポストイットに記入。
- ② 各町の困っていることやあつたらしいなと思うことを青色のポストイットに記入。
- ③ ①・②を組み合わせる事業のアイデアを赤色のポストイットに記入。
- ④ 自分にできることを緑色のポストイットに記入。

### (エ) 各町からのアイデア

各町のアイデアを共有するために、各グループごとに出てきたアイデアの中から1～2案に絞り発表。

〈詳細は資料2「第2回人材育成ワークショップ  
ソンミサンゲーム」 P21参照〉



## ウ 第3回ワークショップ (ア) プログラム

- 1 開会・あいさつ
- 2 グループ（町別）で自己紹介
- 3 <講義>
  - ① 福岡市の歴史と課題把握
  - ② データで見る  
片江校区の過去・現在・未来
- 4 <ワークショップ>
  - ① 良い地域になるってどんなこと？
  - ② ①になるためには何が必要？
- 5 閉会



## (イ) アンケート結果

◎ 地域が抱えている課題は？

| 高齢化   | 交流<br>不足 | 役員<br>不足 | 参加者<br>不足 | 交通安全<br>問題 | 公園<br>問題 | 少子化  | わから<br>ない | その他  |
|-------|----------|----------|-----------|------------|----------|------|-----------|------|
| 28.6% | 19.1%    | 11.1%    | 17.5%     | 1.6%       | 3.2%     | 4.8% | 4.8%      | 9.5% |

〈1回目（各町三役除く）と3回目（各町三役含む）のアンケートとの比較〉

- ・ 1回目、3回目ともに3割弱の方が「高齢化」を課題と考えている。
- ・ 1回目（各町三役除く）のアンケートでは「役員不足＞参加者不足」であったのに対し、3回目（各町三役含む）のアンケートでは「役員不足＜参加者不足」となった。

## (ウ) ワークショップ「良い地域になるってどんなこと？」の主な意見

◎ 良い地域になるってどんなこと？

- ・ コミュニケーション活発な明るいまち
- ・ 町の人が集える場があるまち
- ・ 絆の深いまち
- ・ 安全、安心のまち
- ・ あいさつができるまち
- ・ 子どもや高齢者を見守るまち

◎ 良い地域になるためには何が必要？

- ・ 行事に参加する
- ・ できる人ができることをする
- ・ パトロールの参加者を増やす
- ・ 大人がまずは声をかける
- ・ 地域ぐるみで子どもを見守る
- ・ ふれあいネットワークの活用

## エ 第4回ワークショップ 第2回ワークショップと同内容

〈詳細は資料3「第4回人材育成ワークショップソンミサンゲーム」 P22参照〉

## オ 今後の取り組みについて

- (ア) ワークショップを通して出たアイデアを実現していくために、自治会としてのフォローが必要である。
- (イ) 第1・2回のワークショップ参加者と第3・4回ワークショップの参加者がこれからの地域について話をする場を設け、もう一步地域活性化への前進に繋げることが期待される。
- (ウ) 各町内に町活性化を考える委員などを設け、「やりたいこと」や「できること」について継続的に話し合いを行い、町内の活性化を実現することが期待される。
- (エ) 自治協議会の人材育成委員会と各町の町活性化委員（仮）が定期的に集まり、地域活性化について話し合いをもてる場が必要である。
- (オ) 来年度、委員会主催の地域活性化に繋がるイベントを開催できるようになることが期待される。

ごめんなさい  
その一言で  
仲直り

西村 桃菜

2013 年人権カレンダーより

## 片江自治協ニュース

# かけはし

2013年6月15日 №98

あなたと共に拓く  
コミュニティ

片江校区自治協議会

片江5-35-20 片江公民館内  
電話・ファックス 871-5341

地球環境を考えよう

7・7・7運動

毎月1日は、

1部屋の灯りで、

1時間過ごしましょう。

毎月1日(夜8時～9時)



## 私たちの住む町、片江校区を知っておこう!

### ①片江1-1 275世帯

- ① 城南市民プール前にあります。(1ヶ所)
- ② 高齢者クラブ輪の会 親睦会(5月) バス・バイク 健康講座
- ③ 近隣の集合住宅居住者は自治会未加入者が多いので、加入率を上げていきたい。又、片江1-1に住む人の顔が判り、明るく気軽に挨拶をかわす町にしていきたい。それは、高齢者への見守り隊の役目を成すことに繋がる。

会長：田崎 功

### ②片江1-2 300世帯

- ① 片江1丁目バス停前、片江1丁目16-7にあります。(2ヶ所)
- ② 定例会、敬老会
- ③ 町内の絆を深めるための行事を今、考えているところです。

会長：吉安 宏一



### ③片江2 360世帯

- ① 片江1陽館裏、片江2丁目4 駐車場入口にあります。(2ヶ所)
- ② 餅つき大会(12月)
- ③ 「子供会、高齢者が元気な町」「ゴミが少ない町」従来の課題目標。今年度は従来の目標に「各委員と組長の強化」を計る。それには「役員会の充実、より住みよい町、より誇れる町…みんなで考えよう!!!」をテーマに町の充実を計る。

会長：瀬戸 和雄

### ④片江3 430世帯

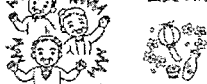
- ① 片江3丁目31-21、片江3丁目33-15にあります。(2ヶ所)
- ② 高齢者クラブ三楽会による親睦一泊旅行(11月) 町内検見(3月) 子供会による浦谷公園清掃(毎月第3土曜日)
- ③ 防犯灯をLED照明に切り替えるため、15万円の予算を計上している。町の安心・安全に努める。

会長：城島 敏敏

### ⑥片江5-1 90世帯

- ① 掲示板は現在ありません。
- ② 老人クラブ「和(なごみ)の会」で、花見などを楽しんでいます。
- ③ 我が町内は、高齢者が多いので安全・安心の生活習慣を確立したいです。

会長：馬詰 武



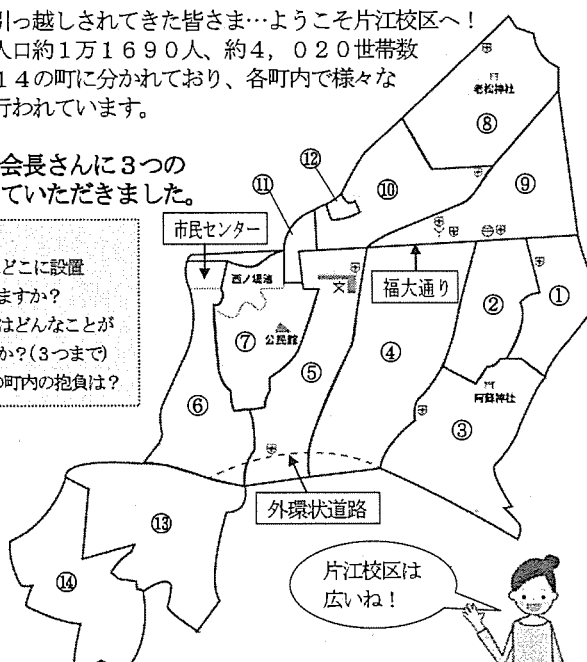
片江校区へ引っ越しされてきた皆さま…ようこそ片江校区へ!

片江校区は人口約1万1690人、約4,020世帯数あります。14の町に分かれており、各町内で様々な取り組みが行われています。

各町の自治会長さんに3つの質問に答えていただきました。

#### 【質問】

- ① 掲示板はどこに設置してありますか?
- ② 町内行事はどんなことがありますか?(3つまで)
- ③ 25年度の町内の抱負は?



片江校区は広いね!

### ⑤片江4 220世帯

- ① 掲示板は現在ありませんが、代わりに平成25年度から、インターネットで情報公開を始めました。アドレスは <http://prinoi.com/kata4> です。
- ② 町内バーベキュー大会(7月28日) ボーリング大会 予定(2月)
- ③ 住民の誰もが、片江4丁目に住んでいて「よかった!」と思えるような町にしたい。自治会活動は「楽しいものである」ということを正しく伝え、自ら進んで「自治会活動に参加したい!」と思ってもらえるようにしたい。

会長：大澤 徹也

### ⑦片江5-2 185世帯

- ① 小松ヶ丘集会所前広地、公民館第二駐車場前にあります。(2ヶ所)
- ② 小松ヶ丘(片江5丁目2区)60周年記念事業
- ③ 上記、60周年記念事業に向けて、実行委員会を5~6回開催し、盛大に行いたい。

会長：濱上 義博

### ⑧神松寺1 410世帯

- ① 老松会館にあります。(1ヶ所)
- ② 敬老会 年末もちつき会
- ③ 子ども会を含め、町内の融和を図る。

会長：馬見新 牧男



### ⑨神松寺2 600世帯

- ① 掲示板は現在ありません。
- ② さんかく祭り(今年はありません)
- ③ 全世代が交流する明るい自治会を目指す。

会長：大穂 喜信



### ⑩神松寺3-1 415世帯

- ① ふれあい会館前、北公園南側、神学校前バス停前にあります。(3ヶ所)
- ② 自治防災訓練(夏・冬の年2回) 敬老会 年末バトロール(12月28~30日)
- ③ 1、「住民と共に拓くコミュニティ」をテーマに「住民本位の自治会」を追求し隣組の強化に努めます。 2、「組織は人なり」に基づき優秀な人材の発掘・育成と人の絆を大切にこの大きな課題に挑戦し町づくりに取り組みます。 会長：松田 留吉

### ⑪片江団地 230世帯

- ① 各棟玄関脇、各棟外階段1Fにあります。(6ヶ所)
- ② 敬老会(9月) もちつき大会(12月) 防災訓練(3月)
- ③ 自治会役員の若返りを念頭に、人材育成をこれまで以上に図っていききたい。また、安全安心のための防犯バトロールや防災訓練も工夫を凝らして実施します。

会長：平川 徳之



『いわせてんしゃい』  
随時募集中!

400字以内でお願いします。  
お名前、又はペンネームをご記入のうえ、片江校区自治協議会までご投稿ください。

投稿先：片江自治協議会  
FAX:871-5341

### ⑫神松寺3-3 237世帯

- ① エントランス、各棟のエレベーター1階の横にあります。(4ヶ所)
- ② マンション管理組合との共同避難訓練を行っています。(3月)
- ③ 町内独自の行事が特にないので、アンケート等により、町内の意見を聞いて、町内独自の行事を作りたい。

会長：岡 隆司



### ⑬西片江1 120世帯

- ① 集会所ついでににあります。(1ヶ所)
- ② 敬老会 バーベキュー大会 西片江2丁目との合同行事
- ③ 「絆を深め、安全で安心して暮らせる町づくり」を目標とし、子どもから高齢者の方々まで、一人でも多く参加できる事業に意をそそぐ。

会長：塩田 弘志

### ⑭西片江2 150世帯

- ① 西片江2丁目入口道路 池のそば、病院側 たら福焼鳥店入口の坂を上がったところにあります。(2ヶ所)
- ② 西片江1丁目との合同行事
- ③ 町民1人ひとりが地域に目を配る「思いやり」や「あたたかさ」を第一に考え、「相互扶助」精神を大切にする町づくり。

会長：古賀 邦彦

## 第2回人材育成ワークショップ ソンミサンゲーム

(片江団地)

### ◎ 集会所を活用してカフェを…よりあい活動

- ・高齢化が進んでいる。
- ・ボランティアを募る。
- ・若い方の育成をする。
- ・ふれあいネットワークを勉強する。

(神松寺1丁目)

### ◎ 神1サロンプロジェクト

- ・公民館が山の上にあるため、自分たちの都合がいいところに建てたい。
- ・1号、2号、4号公園があるが、狭くて遊べなかったりする。
- ・公民館と公園の再生や利用という壮大なプロジェクト。
- ・老松神社を宣伝してまちづくり。
- ・少額出資希望者がそくそく集まっている。

(西片江2丁目)

### ◎ お茶どころ寄っといで

- ・空き地があるので、そこで行う。
- ・アルバイトで大学生を雇う。
- ・話し相手がいるので、話し相手になる。
- ・メニューを提供する。
- ・掃除をする人、自分の趣味を生かす人。

(片江5丁目2区)

### ◎ 町の駅 KOMACHI

- ・創立60周年を迎えた 旧名称 小松ヶ丘。
- ・ゆるキャラ コマッチー作成。
- ・お菓子、パン作り、クリーニング、マッサージ、ネイルができる人材がいる。
- ・古着ショップ。
- ・地下鉄までのシャトルバスを運行。
- ・有線アナウンス
- ・市民農園
- ・福岡大学の学生にアルバイトしてもらう。(福岡大学が一歩近いまち)
- ・3,000円を一口として寄付を募る。

(片江1丁目2区)

### ◎ フリースペース おもてなし

- ・江陽館の有効活用。
- ・カフェをする。材料は農園で作った野菜。
- ・不用品のリサイクル フリーマーケット。
- ・おもちゃのリサイクル おもちゃ図書館。

## 町内活性化のアイデア

(神松寺3丁目3区)

### ◎ 3丁目の夕日カフェ「〇時だよ全員集合広場」

- ・集会所の有効活用。
- ・井戸端会議的なもの。
- ・お年寄りへの声かけ。
- ・本の読み聞かせ。
- ・SHOPナチュレ…パン・お菓子・ケーキが作れる。

(片江1丁目1区)

### ◎ 人材発掘 カフェづくり

- ・出席者のお宅の一階が空いているので、そこで始める!! やりたい!!
- ・料理はできる。
- ・パソコンが得意なのでチラシづくりはできる。

(片江4丁目)

### ◎ アクターファイズスクールながのカフェ(長野食堂)

- ・料理が上手な長野さんに料理を作って提供してもらう。

(神松寺2丁目)

### ◎ SHOPを開く ◎ パトロール

- ・文具屋さん、アクセサリー、モービル、雑貨店。
- ・手作りのお店で、雑談ができる場所として。
- ・シニアによるパトロール。
- ・土、日限定2時間パトロール。

(神松寺3丁目1区)

### ◎ なかよしサロン

- ・高齢者が多い。
- ・保育所とデイサービス機能。

(片江3丁目)

### ◎ 井戸端会議場 日々ありがとうを忘れない町内

- ・高齢者が一番多い地域。
- ・現役農家の方がいる。
- ・農園の作物を売る。
- ・料理教室を開く。
- ・お年寄りに来てもらう。

(西片江1丁目)

### ◎ 高齢者向け配食 ◎ カフェ

- ・空きアパートもあるが、集会所でまずしたい。
- ・配達、雑用、片付けできる人はいる。
- ・料理長を募集する。

(片江2丁目)

### ◎ 永田を使おう会!

- ・福岡大学の永田先生が居住。
- ・江陽館に天文台を作り、星を見る! 月を見る!
- ・楽しい江陽館にしたい。
- ・阿蘇神社も活用する。お年寄りが集まり、話をする場とする。

## 第4回人材育成ワークショップ ソンミサンゲーム

(神松寺2丁目)

### ◎ 空き家をたまり場に

- ・町内の方の顔が見えない。
- ・集会所がない。
- ・老松会館を間借りしているが、坂が急。
- ・空き家をたまり場に  
(ソファを置いてスターバックスのように)
- ・平地の空き地もたまり場に。
- ・ケーキやコーヒーを出す。清掃をする。

(西片江2丁目)

### ◎ 西片江コミュニティホール

- ・山の手、空気がきれい、緑が多い町内。
- ・居住者がいないアパートがあり。
- ・大きな屋敷に一人暮らしの人もある。
- ・若いファミリーと一緒に集える場があればよい。
- ・集会所の使用頻度が低い。
- ・大学の広大な土地もどうにかならないか。
- ・高齢者住宅&託児所

(片江5丁目2区)

- ◎ 集会所でカフェ ◎ 思いやり事業
- ◎ 福大行っちゃうツアー

- ・大学生と一緒に農園を耕す。
- ・家具や遊具を作る人がある。
- ・福岡大学の学食が入りづらい。  
(福大行っちゃうツアーを敢行)
- ・坂が多いので家の前に休憩用の丸太のベンチを置く。  
手すりをつけてもらう。
- ・トイレに行きたくなくなったら貸してあげる。  
(子ども110番の家みたいに)
- ・車を貸し出せる人は、車を貸してあげる。
- ・おじいちゃん、おばあちゃんに子どもを預かってもらう。

(神松寺3丁目1区)

### ◎ リーダーの発掘

- ・集会所もあり、お金持ちの町内。
- ・美人さんが会合に出てこない。  
(子ども会との交流を図る=美人発掘チームのリーダーをつくる)
- ・会社勤めの人町内活動に参加しない。  
(お酒を酌み交わす=酒豪のリーダーをつくる)
- ・公園の活用ができていない。  
(公園の管理ができていない。手当をもらって衛生管理する)
- ・町内の奥さんたちの顔は分かるが、旦那さんの顔が分からない。  
(高級ワインを飲む会=無礼講制度)
- ・空き家の活用
- ・交番がない。(安全対策の責任者を)

## 町内活性化のアイデア

(片江1丁目2区)

### ◎ 片江の駅

- ・財産も土地も時間もある町内。
- ・産直野菜を売る。
- ・居酒屋カフェ。(料理を作る。)
- ・コミュニティバス(地域タクシー)を走らせる。

(西片江1丁目)

- ◎ 福大の若い人の力を活用
- ◎ 店舗(フタバ書店等)と交流したい
- ◎ 放置自転車の解消

- ・高齢化が高く夢も希望もない町内...と言いつつ夢や希望がいっぱい
- ・団塊の世代が地域に入らないのが課題。

(神松寺3丁目3区)

- ◎ 若い人が集まるジャニーズショップのようなもの
- ◎ マッサージが夜遅くまでしてもらえる施設

- ・お金も土地もない。
- ・集会所の利用率が低い。
- ・子どもは玄関のエントランスで遊んでいる。
- ・居住者800人のうち100人以上が60歳を越えた。
- ・閉鎖的な部分もあるので、コミュニティを図れるマンションに。

(片江2丁目)

- ◎ たまり場プロジェクト
- ◎ 江陽館にコンビニ・スタバを作ろう会

- ・江陽館、片江公園、阿蘇神社の有効活用。
- ・時々コーヒーを飲みに行く。
- ・掃除に行く。

(神松寺1丁目)

### ◎ いこい農園 お茶処

- ・空き農園の有効活用。  
(作ったものをみんなで食べる)  
(接待ができる。草抜きができる。)
- ・公園は3ヶ所あるが狭い。
- ・コラボして実行に移す!!

(片江1丁目1区)

### ◎ カフェ

- ・集う場。
- ・レストラン。(捨てるものは出さない。)
- ・料理はできる。
- ・看板は掲げる。
- ・警察署ができればいい。
- ・駐車場や公園の利用。

(片江4丁目)

### ◎ 青年団をつくりたい!

- ・心が苦ければ青年。
- ・自治会から予算を組む。
- ・定例会で宣言。(つくります!!)
- ・食事の提供。

(片江3丁目)

### ◎ よろずやさん

- ・民家を利用。  
(おじいちゃん、おばあちゃん、子ども、  
全世代が集まってしたいことをできる場を。お茶飲み場。)
- ・保育の資格を持っている人あり。
- ・江陽館でバザー。(物々交換)

#### (4) 博多区自治協議会長連絡協議会

～住みよいまちをみんなでつくるために～

博多区のデータ（平成 25 年 9 月 30 日現在）

○人 口 211,018 人（男 102,693 人，女 108,325 人）

○世 帯 数 121,274 世帯

○自治協議会数 22 自治協議会

○自治会・町内会数 374 団体

○博多区の特徴

単身世帯が 7 区中、最も多くその割合は全世帯の 6 割を超えている。

JR 博多駅、博多港、世界有数の利便性に優れた空の玄関口である福岡空港を擁し、西鉄天神大牟田線や JR 九州の駅が集中しており、多くの路線バスが走っている。

雑餉隈駅周辺では連続立体交差事業が行われ、地下鉄七隈線の天神南～博多間の延伸事業が進むなど、都市の機能が充実・発展を続けている。

また、九州最大の歓楽街である中洲地区がある一方、多くの神社仏閣が点在するとともに弥生時代の遺跡なども多く見られる。さらには、伝統的な祭りや文化も豊かで、歴史と伝統が地域にとけ込み受け継がれている。

##### ① テーマの選定及びその背景

博多区は、市内でもより都市化が進んでおり、その状況は、会社・事務所が多い地域、戸建てが中心の地域、共同住宅が中心の地域等に分れ、地域の状況や町内の世帯数により課題や取り組み方も、異なっている部分も多い。

今回、各校区（地区）自治協議会から 4 名程の自治会長等を推薦いただき、地域の状況により班を分け、意見交換の中から自治会・町内会活動の課題を見つけ、対応策・解決策を考え、住みよいまちづくりを検討する。

##### ② ワークショップの開催状況

講 師：十 時 裕 氏（福岡市地域活動アドバイザー）

開催場所：博多区役所保健福祉センター集団指導室

|       | 日 時                   | 主 な 内 容      | 参加数  | 対 象 者    |
|-------|-----------------------|--------------|------|----------|
| 第 1 回 | 9/21 (土) 10:00～12:00  | 課題の掘り起こし、掘下げ | 76 名 | 自治会・町内会長 |
| 第 2 回 | 10/12 (土) 10:00～12:00 | 振り返り、校区での活用  | 64 名 | 自治会・町内会長 |

## ア 第1回ワークショップ

### (ア) プログラム

- 1 開会・挨拶
- 2 班内の町内活動について
- 3 課題の選定
- 4 課題の現状・原因から対応策を探す
- 5 代表班による発表
- 6 閉会



### (イ) 班分けおよび町内の活動状況

地域状況に応じて戸建て中心、集合住宅中心、戸建て・集合住宅半々、会社事務所中心等と、構成世帯数の大小を加味して13の班に分け、地域の話題や校区活動、自治会・町内会活動の事例について、班ごとに話し合いを行った。

### (ウ) 課題の選定

参加者数も多く、出される課題が多様になりすぎる恐れもあったため、主催者とアドバイザーで検討し、あらかじめ用意した次の表から、各自治会・町内会の課題を選定する方法とした。

#### 課 題

- ① 日常の活動内容がよくわからない。
- ② 出ごとの多く、どこまででなければ。
- ③ 役員のなり手が無い。
- ④ 手伝ってくれる人が少ない、いない。
- ⑤ 参加者が少ない、いない。
- ⑥ 新旧住民の関係。
- ⑦ 自治会・町内会加入の低下
- ⑧ 広報・PRのやり方。
- ⑨ 高齢者の見守りが十分できない。
- ⑩ 自治会が持つ情報が不足している。  
情報に限りがある。

### (エ) 第1回ワークショップのまとめ

地域の状況や構成世帯数にかかわらず「役員のなり手がいない」を課題とした班が過半数であり、「高齢者の見守りが十分にできない」「出ごとが多くどこまでしなければならぬか」を課題とした班と併せ3課題について意見交換を行った。

班ごとの取りまとめ状況は次のとおりであった。

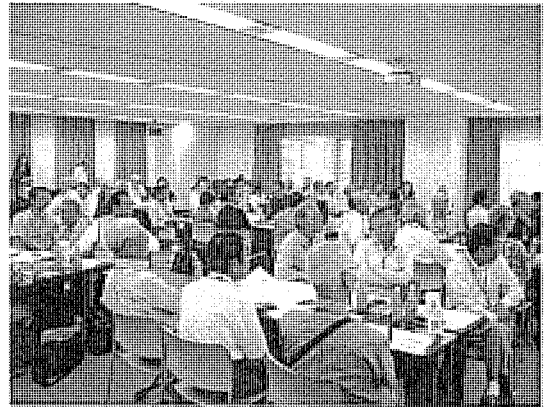
| 班 状 況                               | 選定課題            | 現 状                                                                                                                                          | 原 因                                                                                                                          | 対 応 (案)                                                                                                                             |
|-------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1班6名<br>戸建て中心<br>50 ～ 200<br>世帯     | 役員のなり手がいない      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前会長時代から役員になっており交代時期に来ている</li> <li>・各種団体に役員選出をお願いしている</li> <li>・出ごとが多く生活に支障をきたしている</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・やる気のある人 (60～70才) が少ない</li> <li>・高齢化している</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出ごとを減らす</li> <li>・時間帯を考慮する (昼→夜)</li> </ul>                                                 |
| 2班7名<br>戸建て中心<br>200 ～ 650<br>世帯    | 役員のなり手がいない      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社勤めの人が多い</li> <li>・地元の方が減っている</li> </ul>                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をしている人が多い</li> <li>・行事の人集めが大変である</li> </ul>                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある町内活動を行う</li> <li>・町内会規約の定年制等を削除する</li> </ul>                                            |
| 3班6名<br>戸建て中心<br>200 ～ 700<br>世帯    | 役員のなり手がいない      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員が固定化傾向にある</li> <li>・役員を兼任している人が多い</li> <li>・役員候補者が拒否する</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の仕事が多い</li> <li>・関心がない</li> <li>・役員が批判を受ける場合がある</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手当を考える</li> <li>・会長を使う</li> <li>・若い人に興味を持ってもらう</li> <li>・仕事量を減らす</li> </ul>                 |
| 4班7名<br>戸建と集合住宅<br>200 ～ 500<br>世帯  | 役員のなり手がいない      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧住民関係が難しい</li> <li>・自治会加入が低下している</li> <li>・80代が多く50・60代の住民が少ない</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多い</li> <li>・人材が少ない</li> <li>・独身者が増加している</li> <li>・少子高齢化が進んでいる</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい会合を増やす</li> <li>・定年前から声をかける</li> <li>・家族向けの住宅を増やす</li> </ul>                             |
| 5班7名<br>戸建と集合住宅<br>150 ～ 600<br>世帯  | 役員のなり手がいない      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の年齢に差がある</li> <li>・総会の出席者が少ない</li> <li>・2年1期で役員を辞めた後、無関心となる</li> <li>・候補者名簿を作成し順番制としている</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員になりたがらない</li> <li>・無関心 (関心がない)</li> <li>・忙しすぎる</li> <li>・高齢者が多い</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動と見合う手当が必要</li> <li>・役員に負担をかけない</li> <li>・若い世代に関心を持ってもらう</li> </ul>                        |
| 6班7名<br>戸建と集合住宅<br>550 ～ 1000<br>世帯 | 役員のなり手がいない      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙委員会を組長から6名出し役員で決めている</li> <li>・自分で次期会長を決めなければならない</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会長が名誉職になっている</li> <li>・若年層は仕事をしている</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションをとる</li> <li>・定例会で楽しく出席して頂くため会の終了後コミュニケーションをする</li> </ul>                          |
| 7班5名<br>集合住宅中心<br>30～160<br>世帯      | 高齢者の見守りが十分にできない | <ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立死があっても会長は家に入れない</li> <li>・独居老人が増加している</li> <li>・居住者が高齢者ばかりである</li> <li>・住民が少ない</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報が不足している</li> <li>・把握しにくい</li> <li>・訪問する機会が限られるので会えない</li> <li>・結果を求められる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民台帳の一部開示 (75才以上) が必要である</li> <li>・住民の関わりの機会を増やす</li> <li>・役員以外の関わりを増やす (協力体制整備)</li> </ul> |

| 班 状 況                                      | 選定課題                         | 現 状                                                                                                                                                | 原 因                                                                                                                                                                                   | 対 応 (案)                                                                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8班5名<br>集合住宅中心<br>150 ～ 400<br>世帯          | 役員のなり手がいない                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員が毎年交代する</li> <li>・高齢者が多い</li> <li>・活動への参加者が少ない</li> <li>・仕事をしている人が多く役員を引き受けてくれない</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の支援がない</li> <li>・若い人が少ない</li> <li>・関心がない</li> <li>・やる気がない</li> </ul>                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の支援指導を望む</li> </ul>                                                                                                                                                                |
| 9班4名<br>集合住宅中心<br>150 ～ 500<br>世帯          | 役員のなり手がいない                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・団地住民が高齢化している</li> <li>・輪番制なのに理由をつけて協力しない</li> <li>・役員が固定化している</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣付き合いがなくなった</li> <li>・行事運営のPRが不足している</li> <li>・住民への取組が不足している</li> </ul>                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを増やす</li> <li>・ネットワークを充実する</li> <li>・子どもの行事を増す</li> <li>・老人クラブを活用する</li> </ul>                                                                                                   |
| 10班5名<br>集合住宅中心<br>600 ～ 1300<br>世帯        | 出ごとが多くどこまでしな<br>ければならな<br>いか | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や会議が多い</li> <li>・兼務が多い</li> <li>・役員になりたくない</li> </ul>                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が多く、若い人は転出している</li> <li>・役員が不足している</li> <li>・手当が少ない</li> <li>・会議など出ごとが多い</li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担を考える</li> <li>・手当を増やす</li> </ul>                                                                                                                                                 |
| 11班6名<br>商店街寺社<br>等<br>30 ～ 150<br>世帯      | 役員のなり手がいない                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りには参加するが、自治会には参加しない</li> <li>・高齢者が多く、活動できる人がいない</li> </ul>                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織に属さない</li> <li>・昔みたいな付き合いが少ない</li> <li>・高齢化している</li> <li>・親世代が残り若者が町外へ転出する</li> </ul>                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族向けマンション（の建設）を誘致する</li> <li>・祭りを活用し、活性化を図る</li> </ul>                                                                                                                               |
| 12班5名<br>集合住宅・<br>会社事務所<br>200 ～ 500<br>世帯 | 役員のなり手がいない                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の親が少ないので町内のコミュニケーションがとれない</li> <li>・ワンルームが多いので人と人とのつきあいがない</li> <li>・仕事を持っている方が多いので役員を引き受けない</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長職が多忙にみえる</li> <li>・名前、年齢、世帯人数がわからない</li> </ul>                                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民名簿がほしい</li> <li>・活動の簡素化が必要である</li> <li>・コミュニケーションを図る</li> </ul>                                                                                                                    |
| 13班7名<br>集合住宅事<br>務所あり<br>600 ～ 1150<br>世帯 | 高齢者の見守りが十分にできない              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいネットワークの訪問員を倍增した</li> <li>・老人会に手伝ってもらっている</li> <li>・民生委員任せになっている（個人情報保護が関連している）</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・独居のうえに高齢化している</li> <li>・高齢で体が動かない</li> <li>・組織化が不足している</li> <li>・情報が不足している</li> <li>・PRが不足している</li> <li>・絆が不足している</li> <li>・無関心である</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政へ住民情報の開示を要請する</li> <li>・地域内でのPRを行う</li> <li>・若者の協力を求める</li> <li>・元気高齢者が声掛けを行う</li> <li>・隣人を知る</li> <li>・幼老共生（子どもと高齢者の交流）を行う</li> <li>・環境づくりに取り組む</li> <li>・隣組単位の連携を強化する</li> </ul> |

## イ 第2回ワークショップ

### (ア) プログラム

- 1 開会
- 2 振り返り
- 3 課題の対応策・解決策の掘り下げ
- 4 それぞれの校区に分かれ活用への話し合い
- 5 閉会



### (イ) 課題の対応策・解決策について

第1回のワークショップで班毎に決まった課題について、次のとおり、全員で対応策・解決策を話し合い、以下の提案があった。

#### 【役員のなり手がない】について

- 「なりやすく（だから役員になるのは嫌だの解消）」するために
  - ①出ごとを減らす      ②手当を用意する
  - ③仕事量を減らす（役割分担，集中防止）
- 「ひらく（拒否感をなくす）」ために
  - ①高齢者が好きな活動      ②若者に魅力ある活動
  - ③楽しい会合      ④ふれあいサロン，老人（シニア）クラブの活用
- 「準備する（仕込んでいく）」では
  - ①定年前からの声かけ      ②若い人が住める混合型マンション
  - ③部会への強制加入      ④定年制を用意する

#### 【高齢者の見守り】について

- ①住民間の関係，関わりを高める      ②対話の場を増やす
- ③行政の住民台帳を公開する      ④活動をPRする
- ⑤幼老共生（高齢者，声かけ・子どもとの交流）
- ⑥隣組単位の連携強化

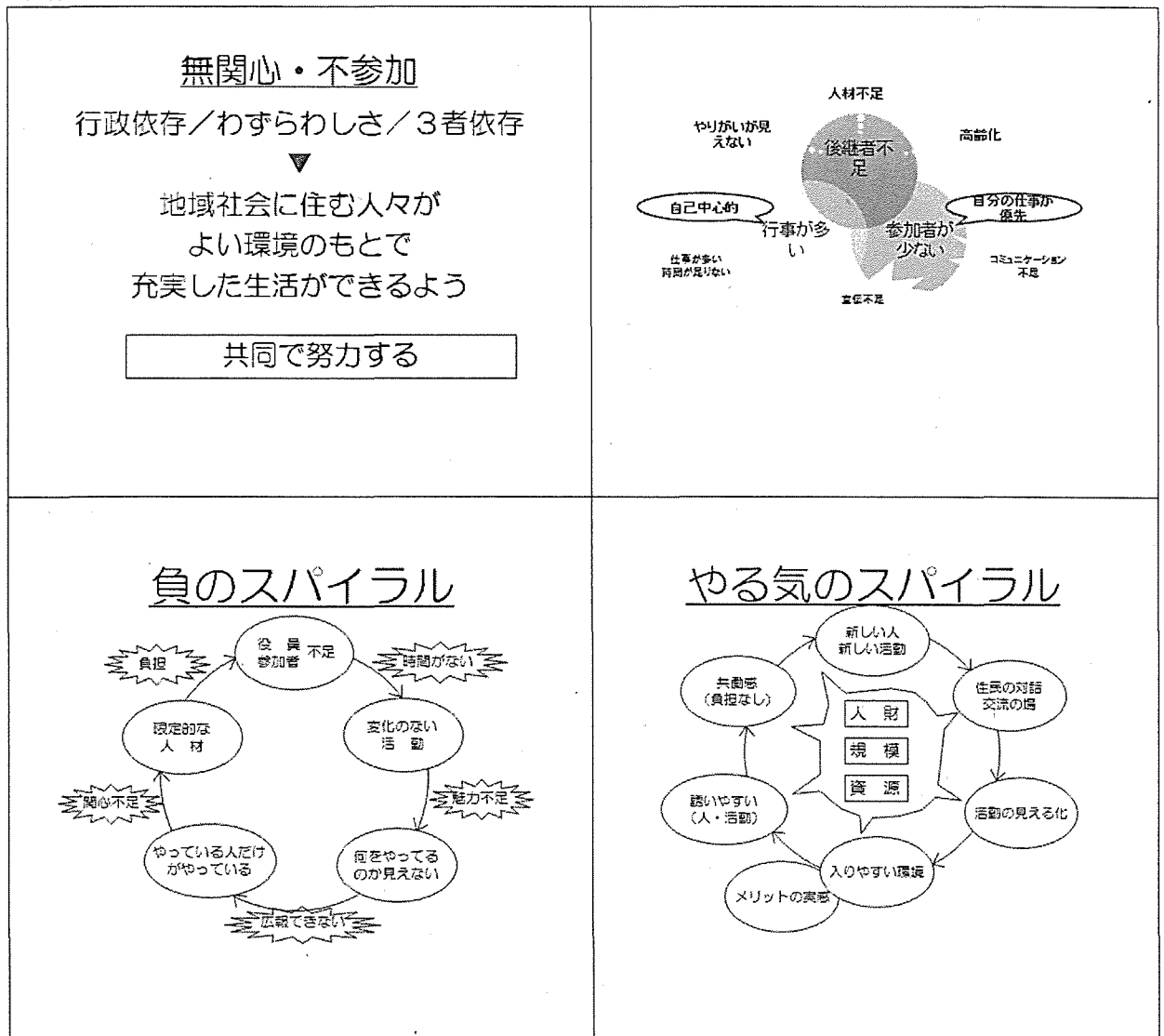
#### 【出ごとが多い】について

- ①役割分担を行う      ②手当を増やす

### (ウ) 十時講師によるパワーポイントによる研修

自治会・町内会の制度、取組活動、課題や解決等について分かり易い説明があった。

#### <資料から参考>



### (エ) 校区（地区）での活用（まとめ）

各校区（地区）、自治会・町内会は、それぞれ地域性はあるがボランティアを楽しく、活動しやすいようにしていくことや、高齢者の見守りについても、老人クラブを活用するなどの意見を踏まえ、今後の自治会・町内会活動の参考とし、住みよいまちづくりに取り組んでいくこととした。

## 2 テーマ「町内会への加入促進」

### (1) 中央区高宮校区自治協議会

～コミュニティ活動への全員参加をめざして～

高宮校区のデータ（平成 25 年 9 月 30 日現在）

○人 口 11,958 人（男 5,129 人，女 6,829 人）

○世 帯 数 8,007 世帯

○自治会・町内会数 24 団体

○校区の特徴

高宮校区は、西鉄大牟田線，城南線，筑肥新道，那珂川などに囲まれた地域で、都心に近く、交通の便が良い住宅地であり、マンション等の共同住宅が 9 割以上を占めている。

#### ① テーマの選定及びその背景

コミュニティ活動をより効果的に実施するためには、町内会加入率の向上と活動資金の確保が重要である。高宮校区では、マンション等の共同住宅が 9 割以上を占めており、加入率の低下が懸念されている。

よって、町内会加入促進に向けて、現状や課題を共通認識し、課題解決のための取り組み事例や工夫について情報交換して各町内の加入促進に役立てることとした。

#### ② 会議・ワークショップの開催状況

町内会長を対象として、町内会長定例会後に高宮公民館で会議・ワークショップ形式で 5 回開催した。進行は、中央区地域振興・支援課の校区担当係長が行った。

|       | 日時                 | 主な内容        | 参加数  |
|-------|--------------------|-------------|------|
| 第 1 回 | 6/1（土）11:00～11:30  | テーマ選定       | 23 人 |
| 第 2 回 | 7/13（土）10:40～12:00 | 課題，取組状況について | 23 人 |
| 第 3 回 | 8/10（土）11:00～12:00 | 情報共有・意見交換   | 23 人 |
| 第 4 回 | 9/7（土）11:00～12:00  | 情報共有・意見交換   | 23 人 |
| 第 5 回 | 10/5（土）11:00～11:30 | まとめ，今後の取り組み | 23 人 |

##### ア 第 1 回会議（全体会議） テーマ選定・会議の進め方

人材の発掘・育成，防犯・防災・安全対策など，様々な課題があることを共通認識したうえで、町内会や校区自治協議会全体の運営に欠かせない課題の 1 つである「町内会加入促進」をテーマとすることとした。

## イ 第2回会議（ワークショップ） 情報交換・意見交換

地域ブロック別に3グループに分かれて町内会加入の状況や課題、取り組みの現状や工夫していることについて、付箋紙や模造紙を使ってワークショップ形式で情報交換や意見交換を行った。

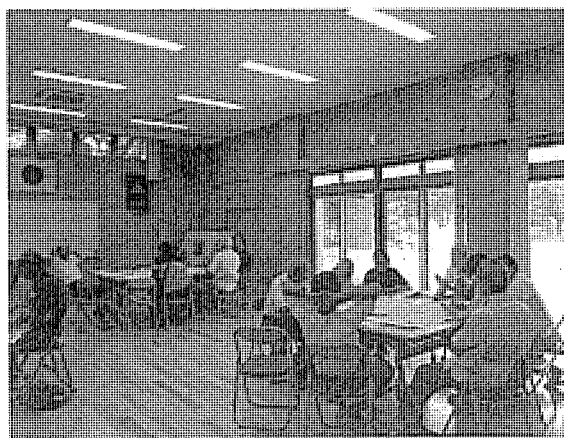
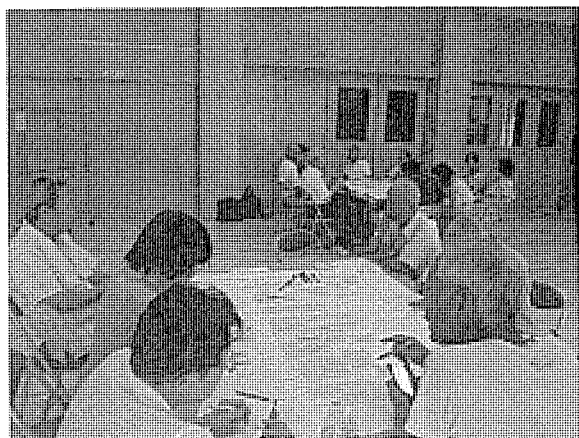
居住形態によって課題や取組内容が異なるため、タイプ別に分類して意見交換し、課題や取組状況の意見を出し合って整理した。

加入促進に関する課題と取組状況

( ) ブロック

| 分 類       |       | 現状・課題・問題点 | 取組み・工夫していること | 今後取り組むアイデア・工夫 |
|-----------|-------|-----------|--------------|---------------|
| 共 通       |       |           |              |               |
| ワンルーム     | 賃貸型   |           |              |               |
|           | 分譲型   |           |              |               |
| ファミリータイプ  | 賃貸型   |           |              |               |
|           | 分譲型   |           |              |               |
| 店舗        | 住居一体  |           |              |               |
|           | 通勤    |           |              |               |
| 会社・企業・事務所 | 本社    |           |              |               |
|           | 支店・支社 |           |              |               |
| その他       |       |           |              |               |

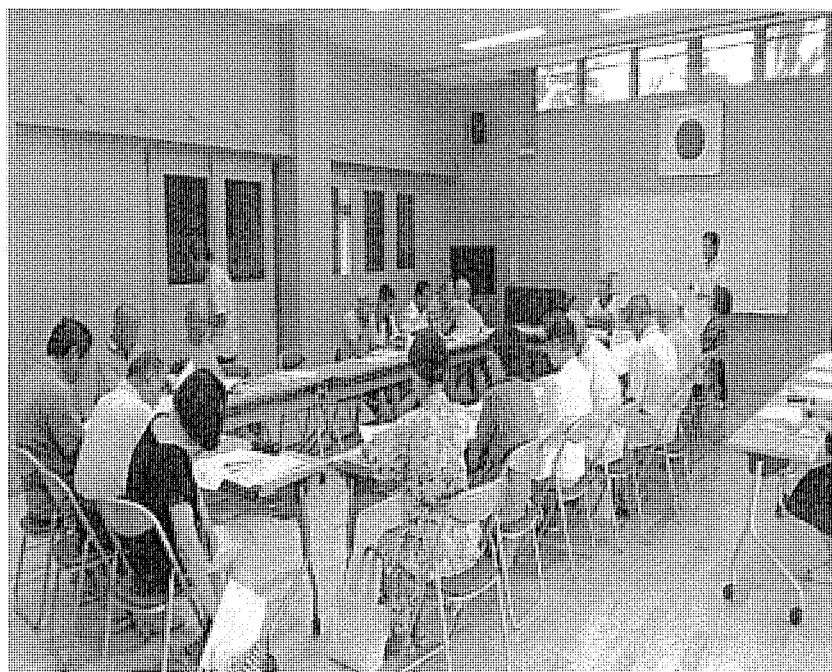
(地域ごとに3グループに分かれて意見交換)



**ウ 第3・4回会議（全体会議） 情報交換・意見交換**

第2回会議で出されたタイプ別「課題・問題点」ごとに取り組み状況や工夫していること、今後の取り組みに関する意見やアイデアなどを出し合った。

（各グループで出された課題や取り組み状況について、全体で情報を共有，意見交換）



町内会加入促進に関する課題と取り組み事例について

| 分類             | 課題・問題点                                                                                                                                                                                                                                                                       | 取り組み事例                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| マンション等<br>共同住宅 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表札もなく、住んでいる人の名前がわからない。</li> <li>・管理会社によっては、会ってもくれない。</li> <li>・オートロックで入れなく、集金しにくい。</li> <li>・個人に請求しても払ってくれない。</li> <li>・管理会社が変わって、新しい管理会社が町内会費を集めてくれなくなった。</li> <li>・分譲マンションでも、オーナーが賃貸物件にしていると、戸別に管理会社が違うため、町費を納入してもらえない。</li> </ul> | <p>○管理会社への働きかけ（主に賃貸住宅）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新築マンションの場合、着工前に管理会社と町内会加入等の交渉している。</li> <li>・管理会社の本社に行って町内会加入のお願いをして、家賃の請求書と一緒に各戸へ御願い書を出した結果、全戸徴収できた。</li> <li>・管理会社と交渉することで、町内会費を一括して町内会口座に振り込んでくれている。</li> </ul> <p>○管理組合への働きかけ（主に分譲住宅）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分（町内会長）の顔を覚えてもらうために、理事長（組合長）、管理人や住民に対する声掛けを心がけている。</li> <li>・町内会の活動内容（意義）を広く周知してもらっている。（防犯灯・掃除・パトロール等）</li> <li>・管理組合から一括振込みしてもらっている（8割納入）</li> </ul> |
|                |                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動への理解や関係を築くために、未加入世帯にも毎月「自治協だより」を配布している。</li> <li>・賃貸仲介会社に、募集時（契約時）に町内会加入（会費）について説明するようお願いしている。</li> <li>・町内会総会を年2回（中間期を入れて）行い、各役員さんに連絡を徹底して、行事（バスハイク、花見等）への参加呼びかけをしている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                        |
| 店舗・会社等         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでないので加入しない、と言われる。（自宅で加入している）</li> <li>・加入した場合何かメリット等あるのか、と言われる。</li> <li>・校区内に飲食店の夜間営業が多くなっている。住民（特に一戸建）との調和をどうとっていくかが課題。</li> <li>・本社の承認が必要と言われている。</li> </ul>                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗や会社にも防犯・防災、清掃活動への理解と参加を求めている（チラシ・面談・etc）</li> <li>・定期的に説得のために訪問している。</li> <li>・献血では全ての店舗、会社をお願いしている。</li> <li>・体育祭の広告（助成）についても協力をお願いしてまわっている。</li> <li>・本社にお伺い書を送付している。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                    |
| その他            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場から町費を徴収できないところがある。</li> <li>・外国人に町内会の説明がしにくい。</li> <li>・老人ホームはどんな徴収をすればよいかわからない。</li> <li>・生活保護受給世帯に対しては、町内会費の徴収が難しい。</li> </ul>                                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場からも管理会社に連絡して会費を徴収している。</li> <li>・国際交流協会の周知（通訳派遣制度、ごみ出しルールパンフレット）</li> <li>・事業所として加入を依頼する。</li> <li>・本人から生活困窮の申し出があれば、徴収していない。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                             |

## エ 第5回会議

加入促進に役立つ「町内会加入のお願い」のチラシやマンション管理組合・管理会社と取り交わす「覚書」・「協定書」のひな形などについても意見交換、情報交換の結果とともに報告書にまとめ、今後の加入促進に役立てることとした。

また、今後の取り組みとしての工夫やアイデア。行政や管理会社・不動産仲介業者等に対して、協力を求めたい事項などが出された。

### (ア) 校区や町内での取り組み

- ・ウェブ（ホームページ）を使った自治活動PR，行事参加のPR
- ・町内会として支援活動をアピール
- ・校区のホームページの充実を図る。
- ・もっと各町内会長の経験談を聞く。
- ・店舗と小規模事務所等で校区内の商工組織をつくり，相互連携を図っていく（高宮校区には現在無し）

### (イ) 不動産仲介業者・管理会社への要望

- ・賃貸ルームの賃貸契約時に仲介業者等が，必ず町内会費の項目を明記して「重要事務説明」として賃貸人に町内会費の納入について了解をとる。（現に募集パンフレットに明記し，契約締結時に町内会費を明示している業者もいる）

### (ウ) 行政への要望・意見

- ・福岡市の条例で町内会加入の義務化をすべき！！
- ・区役所（市）から住民に町内会加入について理解を求める。
- ・協力を得られていない管理会社等との協議の場の設定
- ・不動産仲介業者・管理会社に賃貸契約書への「重要事務説明」の明記と協力依頼
- ・住民の名簿がないと町費の徴収や国勢調査もしにくい。

## ③ まとめ

管理会社と「協定書」を取り交わすことで町内会加入を確実にするなどの工夫がなされていることを，全町内会長で情報共有することができた。

また，不動産仲介業者に町内会加入について「重要事務説明」項目に位置付けるように協力を求めるなど，今後の取り組みの方向性に関する意見も多く出された。

④ 参考資料

○管理地域協定書 . . . 資料1 (P 29～31)

マンションとの管理に関する協定書

○町内会費支払い方法に関する覚書 . . . 資料2 (P 32)

マンションとの町内会費納入に関する覚書

○町内会加入のお願い . . . 資料3 (P 33)

住民への加入のお願いチラシ

## 管 理 地 域 協 定 書

(甲) 福岡市中央区 町内会

(乙)

## 管理地域協定書

福岡市中央区 町内会(以下、甲という。 )と  
(以下、乙という。 )は、 町内会と、(仮称) マンション  
(以下、本物件という。 )の入居者がお互いに良好な住環境を確保・維持し、地域における自治活動の円滑な運営を計るため、下記の通り管理地域協定書(以下、協定書という。 )を締結した。この協定書は2通作成し、甲・乙双方が記名押印の上、各々その1通を保有するものとする。

### 記

1. 乙は、本物件の維持・管理に関し行政の指導及び関係法の定める内容に従い、地域との調和を勘案して総合的な責任を持つものとする。
2. 乙は、入居者を厳選し入居後に騒音、不法ゴミ投棄、違法駐車等地域に迷惑をかけないように指導する。又遵守できない入居者については厳重なる注意を行い、改善できない場合は退去勧告など責任を持って対処するものとする。
3. 乙は、甲より管理規約等管理に関する書類及び入居者名簿等の提出を求められた場合は、速やかに協力し提出するものとする。
4. 乙は、敷地内にゴミ置場を設けて福岡市のゴミ収集車によるゴミ収集を依頼する。又、野良犬、野良猫、カラス等が食い荒らすことがないように囲いなどを設置し、敷地内や前面道路の清掃を行うものとする。
5. 乙は、敷地内の道路面に防犯灯を設置し、地域の防犯・防災に協力するものとする。
6. 乙は、本物件における防火設備の維持・管理について万全の注意を払う。
7. 乙は、入居者及び入居関係者による違法駐車をさせないように十分管理する。又違法駐車があった場合は迅速に対応し、迷惑をかけないようにする。
8. 乙は、入居者の転入、転出時における荷物の積み下ろしは敷地内で行う。
9. 乙は、本物件の1階部分に集合郵便受け及び掲示板(90cm×120cm程度)を設置する。
10. 地域や行政に関する広報誌は速やかに受取り各世帯に配布する。また回覧するものは備え付けの掲示板に貼り周知徹底をはかる。
11. 乙は、入居者に高官校区自主防災会の趣旨、内容を説明し非常時に備えるものとする。
12. 乙は、国勢調査等行政が実施する調査に協力するものとする。
13. 乙は、建物管理人を常駐又は巡回させ下記の業務を行うものとする。
  - (1) 入居者の騒音・駐車・駐輪の処理
  - (2) 建物敷地内及び前面道路の清掃
  - (3) 本物件並びに近隣にて発生した緊急事態には迅速・機敏に対応し、甲に連絡をする。
  - (4) 近隣の住民と入居者間のパイプ役として両者の融和に努力する。
  - (5) その他、地域・町内の行事及び自治業務に対して協力する。
14. 乙は、本物件及び入居者に関する甲の苦情が発生した場合は、甲と適宜交渉し苦情の解決に当るものとする。

15. 乙は、入居者にかわり下記の通り町内会費をまとめ甲に対して納入するものとする。

但し、初年度においては別途協議するものとする。

(1) 前期分 4 月～9 月分までの 6 ヶ月分を 4 月中に納入

後期分 10 月～翌 3 月分までの 6 か月分を 10 月中に納入

金額の算定 世帯数× 円 (月額)

(2) 事務所及び店舗については別途取り決めるものとする。

16. 乙は管理会社を別途選定する場合は本協定書内容を管理会社に完全に引き継ぐ責任を負うものとする。

17. 乙は、本物件の管理会社を変更した場合は、甲へ速やかに連絡し、自治活動の円滑な運営に支障をきたさないようにする。

18. 本協定書に定めのない事項が発生した場合は、その都度協議し甲、乙双方が誠意をもって解決に努めることとする。

以上

平成 年 月 日

甲 福岡市中央区

町内会長

乙

町内会費支払い方法に関する覚書

町内会（以下甲という）と、（以下乙という）とは  
末尾記載のマンション居住者の町内会費納入につき、乙が代行することとし、次の通り覚書を締結した。  
この覚書は2通作成し、甲及び乙双方が記名押印の上、各々その1通を保有するものとする。

記

1. 1世帯当たりの町内会費は、住宅1ヶ月当たり 円、事務所、 円、店舗 円とする。  
2. 町内会に納入する金額は総額 円とする。

算出根拠： 円×世帯×6ヶ月×80%＝ 円  
円×事業所・店舗数×6ヶ月＝ 円

3. 町内会への納入時期

前期分として当年4月～9月の6ヶ月分を当年4月末日までに、後期分として当年10月から翌年3月までの6ヶ月分を10月末日までに、甲の指定する預金口座に振込みにて支払うものとする。

但し、覚書初年度のについては平成 年 月から同年 月までの ヶ月分 円を同年 月までに支払う。なお、振込手数料は乙の負担とする。

4. 甲の振込先

金融機関：

普通口座：口座番号

口座名義：町内会 会計

5. 乙は町内会費の代行業務に変更を生じた場合はその責任と負担において本覚書を引継ぐものとする。  
以上。

平成 年 月 日

甲 住所 福岡市中央区  
氏名 町内会  
会長

㊤

乙 住所

氏名

㊤

物件の表示

物件名称

物件所在地

総世帯数

平成 年 月 日

ご町内の皆様へ

校区

町内会

会長

会計

## 町内会ご加入のお願い

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

高宮校区、高宮町町内会でございます。

当該町内は住宅地域（第2種住居地域）ではありますが、都心に近い地域のため旧来からの居住者と企業の事務所並びに近年増えてきました店舗などが混在する地域となっております。

それゆえに校区にお住まいの方のみならず町内にて企業活動をされる方や、飲食や物販の営業をされる方にもご協力を頂き、地域の防犯パトロールや町内清掃等の環境維持、交通安全対策など、安全・安心で快適な地域環境を守るための支え合い共助をお願いしております。

これらの活動は皆様からの町内会費や資源物回収などの収入で支えられています。東日本大震災においても地域の繋がりや活動が多く命や困難を救ったとの教訓も皆様ご承知のことと思います。

地域の防災組織（高宮校区防災会）も他人任せではいざという時に機能いたしません。町内会では行政との連携も含めより一層安全・安心な街づくりに取り組んでまいりますので、何卒、地域活動にご理解とご協力を賜り、町内会にご加入下さいます様お願い申し上げます。

### 記

- ・町内会費納入をもって町内会ご加入となります。
- ・町内会費は毎年4月末日に1年分（4月から翌年3月分迄）をお支払頂きます。
- ・お支払方法は次の通りです。（①又は②をお選び下さい）

①地区担当の「隣組長」が集金に伺いますので直接お支払下さい。

②町内会銀行口座にお振込みの場合。（請求書及び領収書発行はご指示下さい）

#### お振込先

（銀行名） 銀行 福岡支店

（口座名義） 町内会 会計

（口座番号） 普通口座

#### ・町内会費

1年分 金 \_\_\_\_\_ 円（月額 \_\_\_\_\_ 円）

- ・連絡先 町内会長 090- \_\_\_\_\_  
会計 092- \_\_\_\_\_

以上宜しくお願いいたします。

### 3 テーマ「魅力ある校区づくりを目指して」

#### (1) 西区金武校区自治協議会

#### ～ようこそ金武校区へ～

金武校区のデータ（平成 25 年 9 月 30 日現在）

○人 口 5,948 人（男 2,930 人，女 3,018 人）

○世 帯 数 2,050 世帯

○自治会・町内会数 6 団体

○校区の特徴

西区の最南部に位置し，校区の東側に室見川があり西部から南部は飯盛山をはじめとする山間部につらなる自然豊かな田園地帯である。校区人口は室見が丘の宅地開発に加え，金武，吉武地区の区画整理事業で戸建て住宅建設により今も増加しつづけている。

歴史・伝統面では，流鏝馬の行事も行われている飯盛神社や，旧三瀬街道の面影が残る金武宿などがあり，平成 25 年 8 月末には国指定の吉武・高木遺跡の整備の一環として，やよいの風公園がオープンした。

また，平成 24 年オープンしたかなたけの里公園は，体験・参加型農業公園として金武の自然をベースに運営されており，市民の憩いの場になるものと期待されている。

#### ① 目的

「関心」から「協力・参加」、そして将来の「担い手」への環境整備

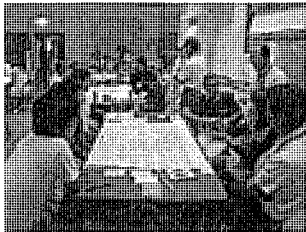
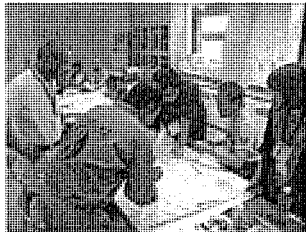
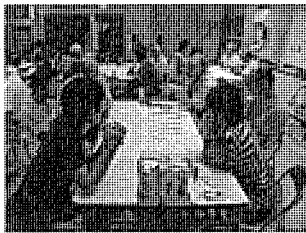
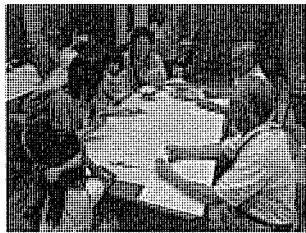
金武校区は，西区で最も人口の増加が著しい校区の一つです。住みよい金武を目指していくために，新たに移り住んだ住民の方々の思いや意見を知ることは，これからの校区の活動を活性化させるうえで重要な課題となっています。

地域活動への「関心」を高め，行事や活動に「参加」，そして将来の「担い手」への人材発掘という段階を経ていくなかで，地域活動の参加が難しい若い世代の方々の意見を聞く場をつくり，その場へ誘うことが，活動や組織の活性化に有効な手段であり，第一歩であると考えます。

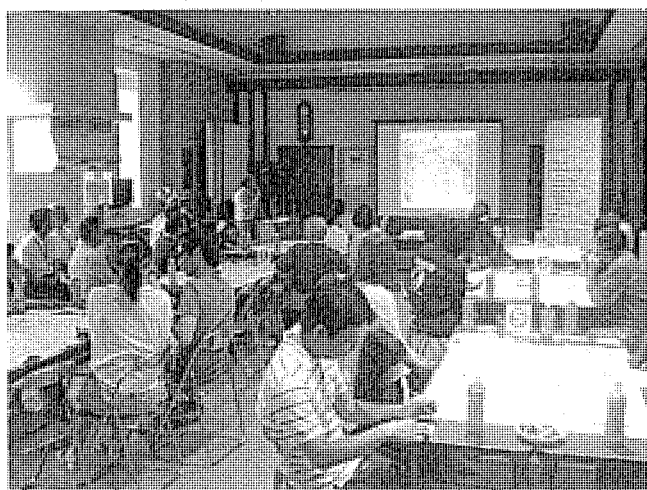
「知る」、「知り合う」、「語り合う」場をつくる

「関心」を持ち，「参加」へとつなげていくために，新たに移り住んできた住民の方々を中心に，町内会・自治会や自治協議会などの地域コミュニティの組織や取り組みを知っていただくとともに，さらに，活動の実施の主体となっている各種団体の方々とお互いに知り合い，その関係を基に，よりよい校区づくりに向けて，活動の理解を深め，お互いが一緒に活動を行っていく環境づくりを目指して，また今後のまちづくりの取り組みの参考とすることを目的に，金武への思いや意見を互いに語り合うワークショップを開催します。

## ② 開催状況

|                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>第1回<br/>「金武を知り合う」<br/>平成25年6月22日(土)<br/>10:00～2時間程度<br/>講師：貞清 清氏<br/>(福岡市地域活動<br/>アドバイザー)</p> | <p>新しい住民の方々を中心に 37 名<br/>(男性 20 名 女性 11 名 町内会長 6 名)<br/>・自治会や自治協議会等の取り組みを紹介<br/>・金武に移り住んで感じている現状とこんな金武にしたい想いを共有</p> <div data-bbox="676 387 983 618"></div> <div data-bbox="1013 387 1319 618"></div> |
| <p>第2回<br/>「金武を語り合う」<br/>平成25年9月21日(土)<br/>10:00～2時間程度<br/>講師：貞清 清氏<br/>(福岡市地域活動<br/>アドバイザー)</p> | <p>各種団体の方々を交えて 28 名<br/>(男性 7 名 女性 6 名 町内会長・各種団体長 15 名)<br/>・金武の現状を再確認<br/>・金武のまちづくりのスローガンを実現する活動を知り合い考える</p> <div data-bbox="684 871 991 1102"></div> <div data-bbox="1021 871 1327 1102"></div>   |

### ア 第1回ワークショップ (ア) プログラム



- 1 開会・あいさつ
- 2 校区の現況と取り組み
- 3 <ワークショップ>
  - ①プログラムの紹介
  - ②参加者紹介とグループ分け
  - ③校区を思い起こす
  - ④金武校区って？
    - 金武校区のイメージは？
    - 校区が目指す姿は？
    - 発表
- 4 閉会

### (イ) 校区の現況と取り組みについて

自治協議会の概要やこれまでの取り組みについて、三角副会長より説明しました。



### (ウ) ワークショップの成果

#### ㊦ 金武校区のイメージは？

まず各自で、ポストイットに、移り住んで感じた金武の良いイメージ（赤）、気になるイメージ（青）を書き出しました。（各3枚程度）

その後グループで、一人ひとりが、良いイメージと気になるイメージを紹介し合い、ポストイットを模造紙に置いていきました。

ポストイットを模造紙に置き終わったら、同じような内容をまとめ、タイトルをつけました。

#### ㊧ 校区が目指す姿は？

まず個人で、「こんな校区であつたらいいな」などの校区の目指すべき姿をポストイット（黄）に書き出しました。（2枚程度）

その後グループで、一人ひとりが、目指す姿を紹介し合い、ポストイットを模造紙に置いていきました。

ポストイットを模造紙に置き終わったら、同じような内容をまとめ、タイトルをつけました。

■意見のまとめ（金武の良いイメージ・気になるイメージ、目指す姿）

| 良いところ                                                                                                                                                                                                                                                                  | 現状       | 気になるところ                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>山、川が近くにあり、自然に恵まれている</li> <li>四季折々の花や木や山</li> <li>飯盛山</li> <li>山頂からの景色が最高</li> <li>はたる、カブトムシ、クワガタムシ</li> <li>お米、ブドウ、イチゴ、野菜、地元の食べ物</li> <li>歴史・文化に富んでいる</li> <li>静か（住むのに良い）</li> <li>公園が近い、多い、広い</li> <li>ウォーキング、散歩によい</li> </ul> | 自然       | <ul style="list-style-type: none"> <li>風が強い</li> <li>花粉や虫が多い</li> <li>川、ため池が多く、水の事故が心配</li> <li>自然を楽しめる手段を知らない（情報が無い）</li> <li>公園に遊具がない</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>同年代の家庭が周りに多い</li> <li>近所に子どもが多い</li> <li>お友達、知人、支えてくださる隣人</li> <li>友達が作りやすい</li> <li>子育てしやすい</li> </ul>                                                                                                                         | 子ども      | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校が生徒数に比べて小さい</li> <li>校区の学力に不安がある</li> </ul>                                                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>地域のつながりが強い、深い</li> <li>校区の人たちが皆温かい</li> <li>活動が盛んでコミュニケーションが取れている</li> <li>いろいろな行事、イベントがある</li> <li>地域の一体感</li> </ul>                                                                                                           | 地域のつながり  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地元のイベント等にほとんど参加しない人も多い</li> <li>知らない人が増えてきた</li> </ul>                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>治安が良い</li> <li>静か</li> </ul>                                                                                                                                                                                                    | 安全・安心    | <ul style="list-style-type: none"> <li>夜、暗いところが多い</li> <li>不審者（車）が多い</li> <li>交通量、</li> </ul>                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>都心部への所要時間が短い</li> </ul>                                                                                                                                                                                                         | 公共交通アクセス | <ul style="list-style-type: none"> <li>駅までの公共交通機関の不便さ</li> <li>バスの便数が少ない</li> <li>バス停が遠い</li> </ul>                                                |
|                                                                                                                                                                                                                                                                        | 店舗施設     | <ul style="list-style-type: none"> <li>車がなければ住みにくい不便（スーパー、店、病院、銀行等がない）</li> <li>警察、郵便局、役所が遠い</li> </ul>                                            |

| 求められる姿・目指す姿   |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然            | 自然                                                                                                                                                  | 自然                                                                                                                                                                           | 自然                                                                                                                                                                                                 |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>変わらぬ自然</li> <li>自然を生かしたまちづくり</li> <li>生活しやすい町にしてほしい（交通、店、施設等の設備）</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自然を守りつつ便利な所</li> <li>自然環境重視の校区に</li> <li>自然保守</li> </ul>                                                                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>金武校区主催の全校区除草キャンペーンをすべきです</li> <li>自然と生活が調和した金武</li> <li>今の自然環境を残して町を守ってほしい</li> <li>自然を大切にしてもらいたい</li> </ul>                                                |
| 地域のつながり<br>交流 | 交流                                                                                                                                                  | 住みやすさ                                                                                                                                                                        | つながり                                                                                                                                                                                               |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>世代が続く地域にしたい</li> <li>全世代が交流できて、世代交代後も続く地域にしたい</li> <li>いろんな方々と交流のある所</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>友人を呼びやすく、子どもが安全に遊べ、学力が上がることで人気のある校区の町になればいいなあ</li> <li>雨の日でも集まれる屋根のある公園みたいな場所があると便利</li> <li>大人も子どもも楽しくすごせる町</li> <li>安全な町</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントがもっと多い校区に</li> <li>飯盛神社、吉武遺跡、里公園を一体として守っていくことを考えてまちづくりをしてほしい</li> <li>相手を思いやって、助け合って、気持ちよく過ごしていける街にしていきたいです</li> <li>子どもたちが自分たちのまちを自慢できるような所</li> </ul> |
|               | 地域                                                                                                                                                  | 子どものため                                                                                                                                                                       | 住環境                                                                                                                                                                                                |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>どの子どもも自分の子のように考えられる</li> <li>新しい住民との地域の結びつきを強く</li> </ul>                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>出戻り歓迎</li> <li>子どもたちのふるさと</li> <li>子どもが将来帰ってきたいと思える</li> <li>子どもが帰ってくる校区になる</li> </ul>                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境は壊さず、住みやすい（便利の良い）</li> <li>住んでよかったなと思える街であってほしい</li> <li>公民館を金武の中心部に移設</li> <li>知り合いがいっぱいの金武</li> <li>校区全体の祭りが欲しい</li> <li>今以上に明るく楽しい</li> </ul>          |
| 安全・安心         | 安全                                                                                                                                                  | 安全                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                    |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>事件、事故のない校区</li> <li>自然を残しながら利便性の高い安全な地域になってほしい</li> </ul>                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>安全安心のまち金武に</li> <li>子どもたちがのびのびと遊べる</li> </ul>                                                                                         |                                                                                                                                                                                                    |
| 発展            | 発展                                                                                                                                                  | 発展                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                    |
|               | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本はこのままで</li> <li>適度に発展し、都市と田舎の間を維持してほしい</li> <li>郷土愛が持てる金武</li> <li>子どもの世代も引き続き住みたいと言ってくれる町でありたい</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>地下鉄</li> <li>浜浜まで一直線の道路が欲しい</li> <li>自然や人はそのまま、スーパーや病院、ATM、がきてほしい</li> <li>自然と街の調和のとれた統一感のあるデザインされたまちづくり</li> </ul>                   |                                                                                                                                                                                                    |

## イ 第2回ワークショップ (ア) プログラム



- 1 開会・あいさつ
- 2 ワークショップの目的と  
プログラム
- 3 参加者紹介・グループ分け
- 4 前回の振り返り
- 5 現状を確認する
- 6 目標の実現に向けて取り組む  
活動は？
- ①校区のスローガンの共有
- ②目標の実現に向けて何を？
- ③発表
- 7 閉会・あいさつ

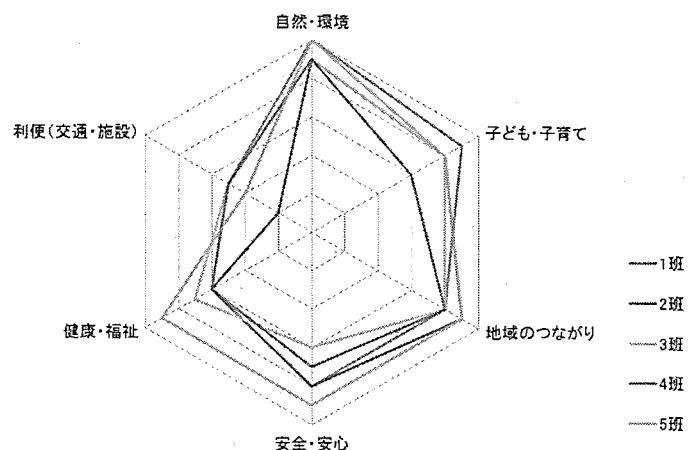
### (イ) ワークショップの成果

#### ㊦ 現状を確認する

前回の現状のまとめを基に設定された6つの切り口（「自然・環境」「子ども・子育て」「地域のつながり」「安全・安心」「健康・福祉」「利便（交通・施設）」）ごとに評価とその理由をグループで話し合い、校区の現状を再確認しました。

まず個人で6角形のシートを使って、現状に対する評価を5点満点で行いました。

その後、グループで高い評価（良い）の理由、低い評価（悪い）の理由を話し合い、ポストイットに記録しながら、グループとしての評価をまとめました。



#### ④ 目標の実現に向けて取り組む活動は？

##### ○ 校区のスローガンの共有

現状の再確認を踏まえ、校区のスローガン（「交流を育む活力ある校区」「自然環境と調和した校区」「地域の特性に応じた個性ある校区」「住民が自慢する校区」）で大切にしたいことやポイントをポストイット（黄色）に書き出して、スローガンを共有しました。

##### ○ 目標の実現に向けて何をすべきか？（活動のアイデア）

目標に関わる既存の活動をポストイット（青）に書き出し洗い出しました。

目標の実現に向けて、校区全体で連携・協力すると効果的・効率的な活動、また新たにに取り組むべき活動を考え、ポストイット（赤）に書き出しました。

■意見のまとめ（スローガンを実現する活動 ・：既存の活動 ○：新たな活動）

| スローガン           | 大切にしたいポイント                                                                                                                                                                                                                                                                       | 既存の活動                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                 | 新たな活動のアイデア                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 交流を育む活力ある校区     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・金武を考える交流の場を増やす</li> <li>・世代間の交流</li> <li>・子どもから高齢者まで異年齢の交流</li> <li>・団体のあり方を考え直す</li> <li>・各町内会・自治会の情報の共有化</li> <li>・多数の人数が関わるができる内容であること</li> <li>・一人でも多く参加いただく</li> <li>・参加しやすく楽しめる行事</li> <li>・コミュニケーション</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭</li> <li>・運動会</li> <li>・球技大会</li> <li>・ほうけんぎょう</li> <li>・各種サロン</li> <li>・子ども会</li> <li>・男子会</li> <li>・消防</li> <li>・地域、学校、家庭の共育（人尊協）</li> <li>・夏祭り（室見ヶ丘）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各神社の祭り</li> <li>・おこもり</li> <li>・三世代交流（ウォーキング）</li> </ul>                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校区全体のお祭り <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏祭り</li> <li>・校区あげての盆踊り大会（夏祭り）</li> <li>・校区駅伝マラソン大会</li> </ul> </li> <li>○校区ホームページの宣伝（開催行事を見やすく）</li> </ul>                            |
| 自然環境と調和した校区     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保護</li> <li>・自然を壊さない</li> <li>・自然とふれあう</li> <li>・里公園の有効活用</li> <li>・校区全体での清掃</li> <li>・自然と調和した看板、建物</li> </ul>                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング大会</li> <li>・室見川再生会議</li> <li>・飯盛山を愛する会</li> <li>・メダカを守る会</li> <li>・かなりんピック</li> <li>・川遊び</li> <li>・観月会</li> <li>・ほうけんぎょう</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・川遊び</li> <li>・自然の中のウォーキング</li> <li>・飯盛山登山</li> <li>・自然教室</li> <li>・自然観察会</li> <li>・不法投棄の見回り</li> <li>・自然を大切に公園（金武公園、やよいの風公園）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○野外コンサート</li> <li>○ジョギングコースの整備（ルートづくり）里公園と吉武高木遺跡を結び</li> <li>○登山ルートの整備（飯盛山⇄日向山⇄乙石山⇄飯場峠⇄西山）</li> <li>○自然の中のキャンプ</li> <li>○公園整備（ひなもちこ アメンボ公園）</li> <li>○金武自然紹介</li> <li>○ホテルを守る</li> </ul> |
| 地域の特性に応じた個性ある校区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化の継続</li> <li>・豊かな農産物</li> <li>・伝統食（かしわ飯、鶏がらスープ）</li> <li>・やよいの風公園</li> <li>・飯盛神社（飯盛山）</li> <li>・クラブ活動</li> </ul>                                                                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほうけんぎょう</li> <li>・川遊び</li> <li>・かなりんピック</li> <li>・神社のお祭り（流鏝馬、だごごもり、輪越し祭り）</li> </ul>                                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯盛山を守る会（植樹）</li> <li>・子ども相撲大会</li> <li>・獅子舞い（飯盛文珠堂）</li> <li>・かしわ飯、ぶどう</li> </ul>                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○地産地消（販売所）</li> <li>○やよいの風公園の活用</li> <li>○オリエンテーリング</li> <li>○室見が丘のように他町内も環境活動（歩道に花植え）</li> </ul>                                                                                        |
| 住民が自慢する校区       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の維持</li> <li>・自然を大切にする</li> <li>・安心・安全な地域づくり</li> <li>・人と人との交流</li> <li>・人と人とのふれあい</li> <li>・住んでいる人がやさしい</li> <li>・個性のある人が多い</li> <li>・子どもの環境</li> <li>・子育て</li> <li>・各部会の活動が盛ん</li> <li>・神社・寺</li> <li>・田園</li> <li>・ぶどう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭</li> <li>・おはようおじさん、ありがとうおばさん</li> <li>・通学合宿</li> <li>・餅つき</li> </ul>                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・室見川へのアユの放流</li> <li>・遺跡</li> </ul>                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○校区特産物のPR</li> <li>○校区歴史勉強会</li> <li>○室見が丘の男子会</li> </ul>                                                                                                                                |

### ③ まとめ

地域課題の解決に向けて地域活動の活性化が求められるなか、地域自治組織の体制強化は大きな課題となっています。住宅団地の開発により新たに金武に移り住む若いファミリー世代の方々の思いや意見を知ること、また自治協議会などの方々と知り合うことは、よりよい地域づくりに向けた意識の共有や人材の発掘など、これからの校区の体制強化につながる取り組みとなりました。

今回のワークショップをきっかけとし、よりよい校区づくりに向けて、より多くの住民の方々の意識が「関心」から「参加」、そして「担い手」へと、次のステップにつなげていく活動の実践が大切となります。今回のワークショップを通じて、基盤強化に向けて得られたことを整理します。

#### ○集まる場づくりと参加を呼びかける（お誘いする）

今回のワークショップは、新たに移り住んだ方々の意見を聞くということを実践したものであり、若い方々を中心とした参加者の募集には、幾度も足を運びかなりの労力を要しましたが、話し合いの場を設けるという真剣にそして気軽な気持ちでのお誘いが、まちづくりというテーマであったにもかかわらず、乳幼児を連れた方々も参加しました。

校区の方々との交流や人の優しさを指摘する意見もワークショップでは多く聞かれ、新たな住民の方々を素直に受け入れる地域の環境もさることながら、集まる場と労を惜しまない参加の呼びかけ（お誘い）の重要性が改めて示されました。

#### ○自治協議会などの取り組みを知ってもらう

校区の目標や取り組んできた活動をはじめ、ラジオ放送「心のオルゴール」など、これまで取り組んできた活動を紹介しました。また、6つの町内会長、各種団体長の紹介とともにワークショップにも一緒に参加し、お互いが知り合うとともに、自治協議会などの組織や取り組みについて、一人でも多くの方々に根気よく理解してもらうことが大切です。

#### ○若い世代の方々ならではの課題、校区全体で共通する課題が明らかになる

若い同世代が多く集まっていることで、子どもたちをはじめ友達を作りやすい、子育てなどを話しやすい環境があることが指摘されています。子育て世代の共通の悩みに耳を傾け、校区全体で共有していくことも大切です。

また、自然が豊かである半面、郊外という立地特性から都心への交通アクセスの不便さ、店舗や公益施設などが遠く、日常的な生活に車が不可欠という指摘が数多くありました。こうした課題は、旧来から住んでいる方々や高齢者だけではなく、若い世代の方々も共通に感じている課題であり、話すこと聞くことで、改めて地域の共通の課題であることが認識できました。

#### ○ワークショップで話し合われた成果をできるところから活動へ反映していく

これまでも校区全体でのイベントはあるものの、新しく住まわれた方々と古くから住んでいる方々、子どもから高齢者まで世代を超えたイベントなど、校区全体で楽しみ、ふれあい、知り合える新たなイベントの開催が求められました。

今回のワークショップで話し合われた意見を踏まえて、公民館事業での歴史散歩、校区のロゴマークの制作検討などワークショップでの意見が反映された事業も既に行われました。また、定例会へもワークショップの成果は報告され、できるところから来年度の事業計画への意見の取り込みが確認されました。話し合われた内容を一つでも実現し、出番や居場所をつくることで、さらなる校区への理解や地域活動への新たな参加も期待されると思われます。

## (2) 東 区 松 島 校 区 自 治 協 議 会

### ～ 現状を踏まえ10年先の松島校区の将来像を考える ～

松島校区のデータ（平成25年9月30日現在）

○人 口 17,340人（男8,968人，女8,372人）

○世 帯 数 8,464世帯

○自治会・町内会数 29団体

○校区の特徴

松島校区は、平成5年に筥松校区から分離し、新たに誕生した校区で、平成25年度に校区設立20周年を迎えました。

校区には3本の河川が流れ、過去の氾濫により大規模な水害が発生しており、河川改修など治水事業が進められました。さらに平成21年7月のゲリラ豪雨でも大きな被害が発生したため、平成22年5月に住民と行政の共働で防災マップを完成させました。

校区内のほとんどが工業系の用途地域で企業や工場などが多く立地しています。また国道3号博多バイパス、福岡東バイパスなどの主要幹線道路が通っており、交通量も多いため、住民の交通安全対策への関心が高まっています。

ファミリー向けの中高層集合住宅やワンルームマンションの立地が進み、人口、世帯数ともに区内で2番目に多くなっています。比較的若い世代の転入者が多いため、高齢化率は12.1%と区内で3番目に低くなっています。

松島校区自治協議会では、子どもから高齢者の方々、ハンディキャップを持つ方や外国からの転入者を含め、すべての人々が安全で安心に暮らせる「共生のまちづくり」を目指し、毎年、福祉文化祭やふれあい夏祭り、大運動会などの主催事業を実施しています。

#### ① テーマの選定及びその背景

松島校区は、校区が設立して20年、自治協議会が設立して10年という節目を迎えました。この間、各自治会・町内会や各種団体は、よりよいまちづくりのために様々な地域課題の解決に向けて活発な活動をしてきました。特に自治協議会設立後は、校区が一体となった各種の事業を展開しながら、できるだけ多くの住民が行事に参加し、つながりや絆を深められるよう取り組んできました。

そのような中、松島校区ではこの10年間、校区外から非常に多くの住民が転入し、人口が倍増しました。また、子どもや高齢者、外国人の人口も増え続けるなど、大きな変化が起きてきました。

自治協議会は、これらの変化をとらえながら、様々な状況にある住民が共に助け合い、支え合いながら暮らせる「共生のまちづくり」をモットーに活動してきましたが、今後

も、押し寄せる変化の波を捉えながら、より実効的な事業に取り組んでいくことを目指しています。

そこで、このたびの「自治協議会の運営基盤強化に向けた支援事業」では、現在、地域活動を担っている地域の役員の方々が、松島校区の10年先の将来像を見据えたヴィジョンを考え、そこに至る課題や改善策を検討し、これからの活動に活かしていくことを目的としました。

## ② ワークショップの開催状況

外部講師として山本華世氏をお招きし、各自治会等から45名が参加して、松島会館で講演会及びワークショップを開催しました。

| 日時                | 主な内容                                  | 参加数 |
|-------------------|---------------------------------------|-----|
| 3/1（土）14:00～16:00 | ・ ボランティア活動などをテーマに30分間の講演<br>・ ワークショップ | 45人 |

### ア 講演テーマ

「自分らしく生きる ～ 共生のまちづくりを前進させるためには…」

### イ 講演内容

講師は、仕事ではテレビやラジオ等で活躍される一方、無償でのプロバスケットボールチーム代表就任や、障がい者との交流行事など各種のボランティア活動をされています。その活動の中で、ボランティアならではの難しさや、善意の行動に対する誤解や批判など様々な壁を乗り越えてこられました。



この日は、地域でボランティアとして活動する自治会・町内会の役員や、地域の各種団体の役員に対して、それらの体験を伝え、共感を呼び、課題への共通認識を持つことができました。それを踏まえることで、次のワークショップでは活発なディスカッションが交わされました。

## ウ ワークショップ

### (ア) コンセプト

現状を踏まえ10年先の松島校区の将来像を考える

共通テーマ： 共生のまちづくり ～ ユニバーサルタウン まつしま ～

### (イ) グループ分け

◎「厚生将来像」を考えるグループ（厚生G）



◎「安心・安全の将来像」を考えるグループ（安心・安全G）



◎「生涯学習の将来像」を考えるグループ（生涯学習G）



◎「町内会・自治会の将来像」を考えるグループ（町内会・自治会G）



（ウ）10年後のサブテーマ決め

◎厚生G

- ・みんなが集う住みたいまち、ずーっと住みたくなるまち、みんなが笑顔で暮らせるまち「松島」

◎安心・安全G

- ・ボランティアの大切さを知り、ボランティアが根付くまち「松島」

◎生涯学習G

- ・緑と文化のまち「松島」

◎町内会・自治会G

- ・地域の全ての人が楽しく暮らせるまち「松島」

（エ）課題抽出

◎厚生G

- ・年齢の層が広いので、子ども、青少年、青年、壮年、高齢者のみんなが参加しやすい行事や祭を考えるべき。
- ・高齢者が参加したくなる行事が必要。
- ・古くから住んでいる人も、新しく来た人、若い人も交流できる場、集いの場があった方がよい。

◎安心・安全G

- ・どんな場面でもボランティアが必要になってくる。
- ・ボランティアをする世代が高齢化している。

### ◎生涯学習 G

- ・校区の人口が多い割には行事の参加者が少ない。
- ・高齢者、成人、子どもそれぞれの活動とそれぞれの世代がつながる町づくり、世代交流が必要。

### ◎町内会・自治会 G

- ・住民の地域活動に対する意識が低い。
- ・20～50代の若い世代の参画が少ない。
- ・自治会から子どもたちの活動が見えにくくなっている。
- ・校区内の組織がうまく機能していない。
- ・校区や分野ごとの進むべき方向性（マスタープラン）がない。

## （才）改善策検討

### ◎厚生 G

- ・若い方や引っ越してきた方、外国人の方もこれから校区や地域に参加してもらうように呼びかけが必要。
- ・校区の中に集会所やいこいの施設が増えると、みんなが集まることができ、交流の場ができる。
- ・花を植えてきれいなまちへ。子どもたちも一緒に作業したり、作業後に花見をする。町の清掃にもなり、多くの人が参加しやすい。
- ・保育園、幼稚園、小学校、中学校の保護者が自治会、校区と交流を深める場を増やしたい。

### ◎安心・安全 G

- ・まずは地域住民の皆に関心を持たせる。
- ・仕事を持っていても活動できるというアピールが必要。
- ・評価されなくても大事だということを伝える。←しかし、評価してあげることも大事。周囲からの後押しも必要。
- ・ボランティアの大切さを小さな頃から教え、根付かせる。
- ・ボランティアをした場合のメリットも必要。達成感を持たせる。
- ・親子での参加。子どもの興味を引く行事。公民館、会館等、人の集まる場所の活用など。
- ・公民館サークル間の交流を図る。

### ◎生涯学習G

- ・子どもの声、地域の声聞き、共通理解を図る。
- ・花植え、アート作成等 ～ 障がいのある方や高齢者との共働 ～ 企業や施設からも協力を得る。
- ・計画的な町づくりが必要。道路の確保、公園等の整備、歴史的遺産の活用など。
- ・今ある畑や田んぼを将来的に活用する。(公園や文化施設)
- ・一人一人がゴミを拾うように心掛ける。
- ・まず私たちから始めて次へつなぐ。

### ◎町内会・自治会G

- ・次世代の育成が大切。
- ・誰もが活動できるような自治会活動のシステムを作る。
- ・自治協議会が民意を知る住民アンケートなどを実施してみる。
- ・まずは各自治会内でのコミュニケーションを図る。
- ・自治会内部で出会いの行事を作る。もちつき大会、バーベキュー大会は参加が多い。
- ・向こう3件両隣の地域社会をを目指す。
- ・若い世代の指導者を育てていく。

## (カ) まとめ、発表

### ◎厚生G

- ・大きくなった子どもたちが帰って来たくなるまちにしたい。
- ・子育て世代を地域がサポートできる組織づくり。

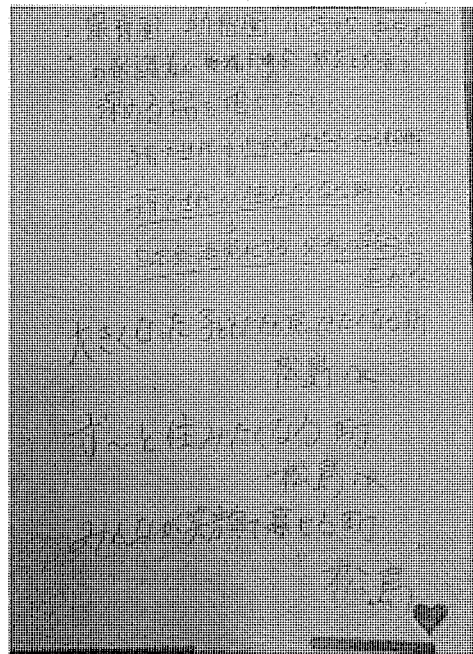
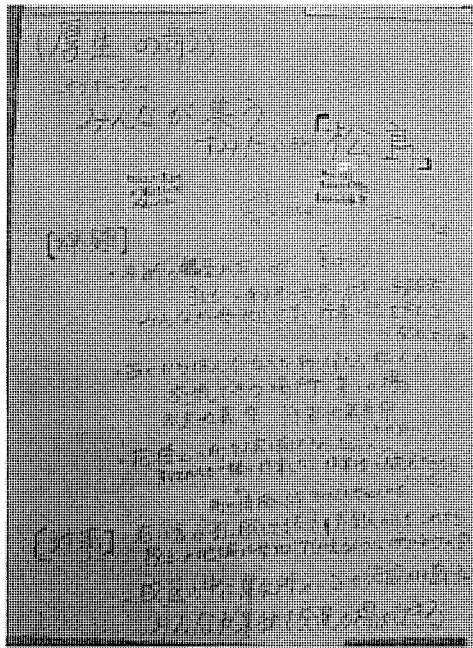
↓

子育て世代が住みたくなるまちになる。

↓

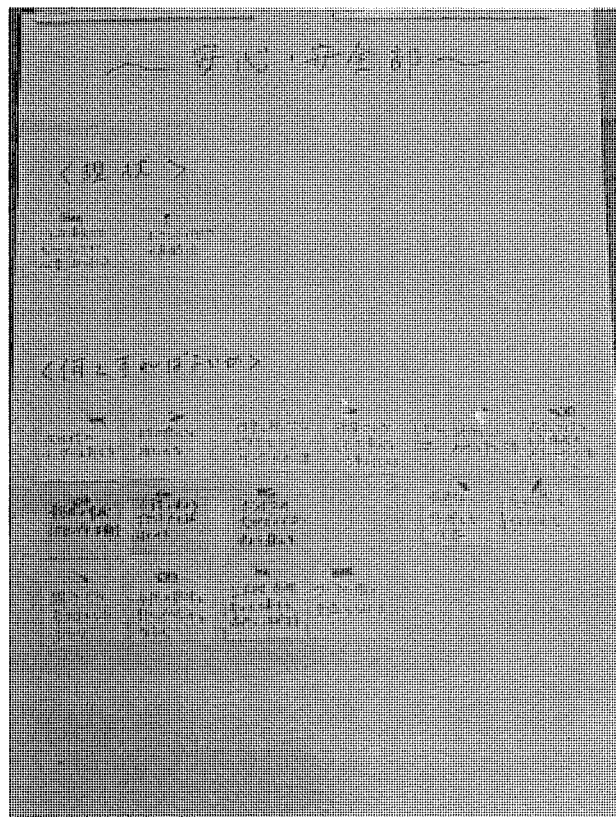
自治会が活発化する。交流の場が広がる。

- ・1年に1回、子どもからお年寄りまで集まれる行事、祭を行う。夏祭り、ファミリーウォーキング大会、マラソン大会など。



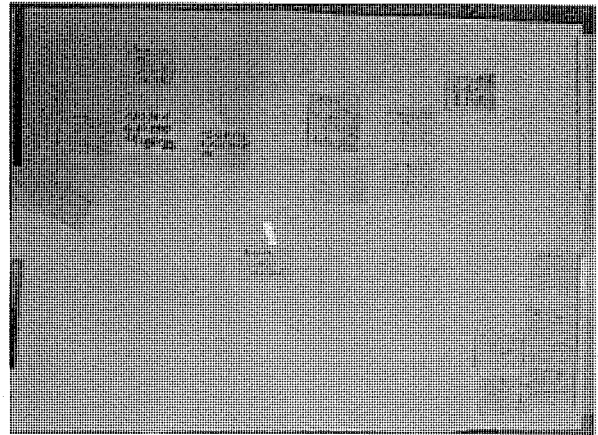
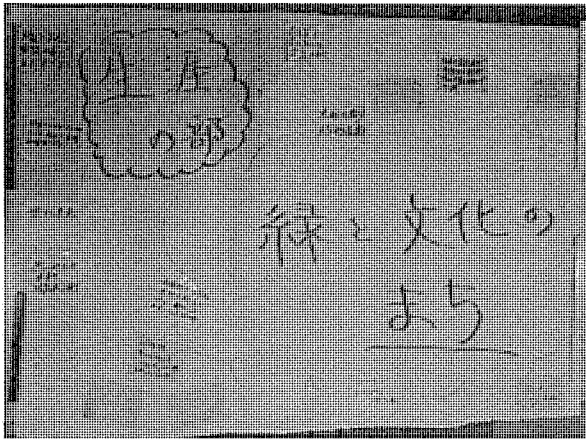
### ◎安心・安全G

- ・ボランティアで活動する人たちが途切れないように、子どものころからボランティアの大切さが体験できる活動を行う。
- ・次世代のリーダーを育てることが大切。



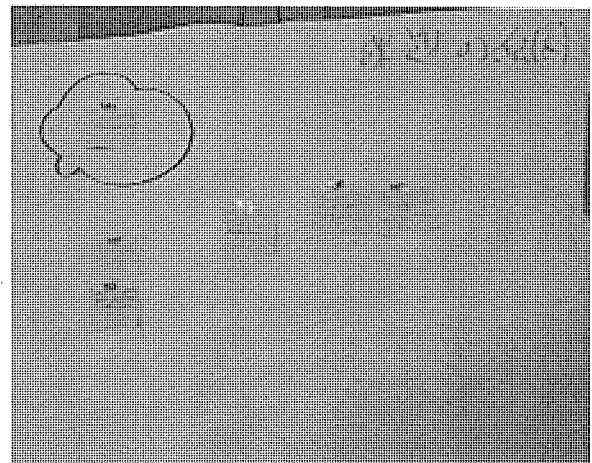
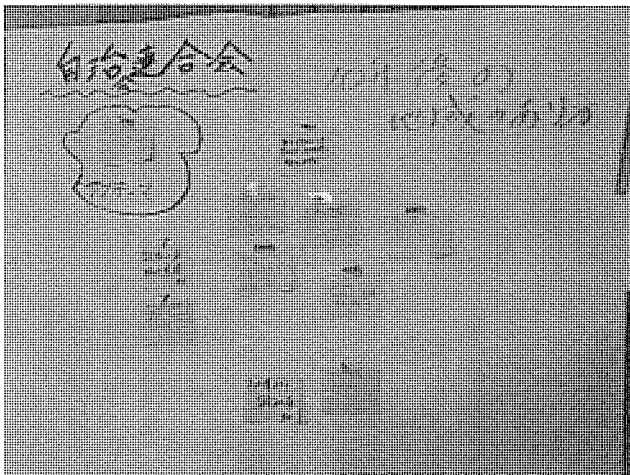
### ◎生涯学習G

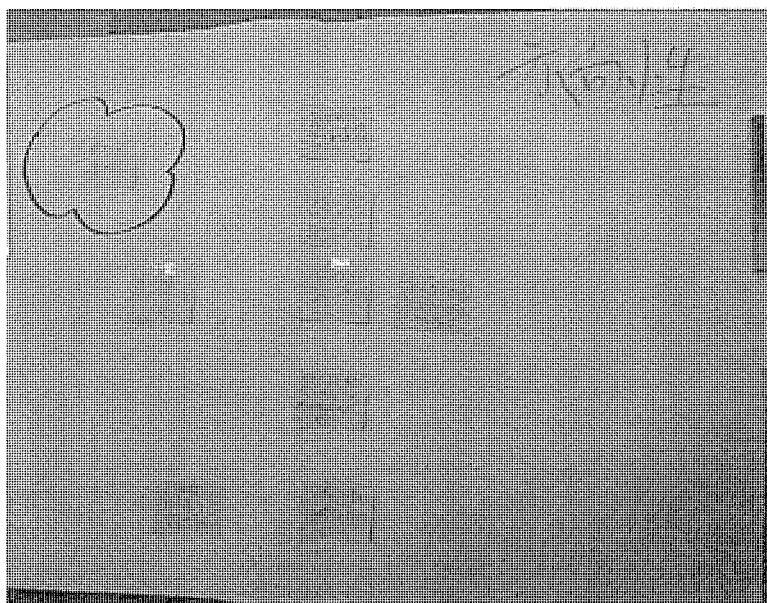
- ・ 緑と文化施設の多いまちをつくる。地域の歴史、他校区の歴史との交流を図り、文化の香りただよう、笑顔あふれるまちづくり。
- ・ 文化の面で各世代をつなぐ。高齢化から子どもまで、世代を越えて仲良く、思いやり、支え合い、活力のあるまち。
- ・ 福祉と教育を充実し、すべての人々が住みやすく、子どもたちが元気なまちを目指す。



### ◎町内会・自治会G

- ・ 誰でも（みんな）参加できる地域づくり。
- ・ 安全で子どもが住みやすく、隣人同士が見知らぬ人ということがないまち。安全、安心、笑顔で一声かけ運動など。
- ・ 自治協議会は市役所との連携機関となり、各自治会・町内会が充実するように、10年のマスタープランを立てたい。





## 4 テーマ「組織体制の見直し」

### (1) 東 区 香 椎 下 原 自 治 協 議 会 ～より連携のひろがりのある体制づくりに向けて～

香椎下原校区のデータ（平成 25 年 9 月 30 日現在）

○人 口 13,390 人（男 6,903 人、女 6,487 人）

○世 帯 数 6,446 世帯

○自治会・町内会数 15 団体

○校区の特徴

香椎下原校区は、立花山・三日月山の麓に位置する自然に恵まれた校区です。立花山山頂には、鎌倉時代の末期に豊後の大友氏が築いたといわれる山城、立花城址があり、その周辺には特別天然記念物に指定されているクス原生林が見られます。立花城址や長谷ダムはアメニティ百選にも指定され、市民が身近な自然にふれあえる場、いこいの場として親しまれています。また、住宅地周辺には多くのため池が見られます。校区の北境は新宮町、東境は久山町に隣接しています。校区内には国道3号及び県道町川原福岡線が東西に走っており、現在、3号バイパスの整備が進められています。

九州産業大学が校区の隣接地に立地していることもあり、単身世帯の割合が高いことも校区の特徴の一つです。

地域では、長谷ダム水がめまつりやまちづくり音楽祭の開催など積極的なまちづくり活動が行われています。

#### ① テーマの選定及びその背景

香椎下原校区には、15の町内会があり、市街地の拡大と共に生まれた新興住宅団地と既存集落が地域ごとの特性に合わせた地域活動を展開している。風土、文化、成り立ちが異なる各自治会と各種団体が校区でまとまり、一体的に活動するために幹事会による部会制をとりながら事務局機能を持つ体制による運営がなされてきた。しかし、近年の高齢化に伴う地域課題の変化に対して、固定化した役員、慣例化した組織体制がこうした状況に対応しきれずその見直しが求められている。

#### ② ワークショップの開催状況

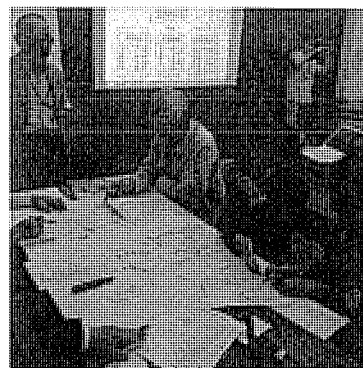
外部講師として、これまでも校区まちづくり研修、アドバイザーとして地域との関わりの深い 十時 裕 氏（福岡市地域活動アドバイザー）をお招きし、校区運営メンバーを中心に地域活動リーダー約30名の参加によるワークショップを3回、香椎下原公民館で開催した。

|     | 日 時                 | 主 な 内 容    | 参加数  |
|-----|---------------------|------------|------|
| 第1回 | 10/21（月）19：00～21：00 | 地域活動の洗い出し  | 28 人 |
| 第2回 | 11/18（月）19：00～21：00 | 課題の共有      | 32 人 |
| 第3回 | 12/ 9（月）19：00～21：00 | 見出し、改善点の整理 | 26 人 |

## ア 第1回ワークショップ

### (ア) 香椎下原校区の現状（活動、組織）

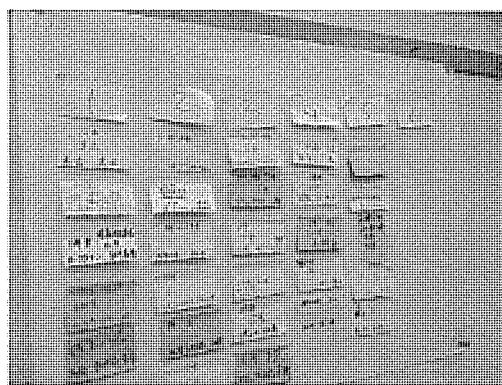
香椎下原校区は、まとまりのある15自治会と幹事会（部会）で構成される自治協議会で運営されている。地域の活動は、各団体とその活動を取りまとめる事務局を中心にこれまで培われた人の連携、経験の中で大きな変化のないまま校区行事が運営されている。



### (イ) 参加者紹介、グループ分け

参加者に現在の地域でのリーダー（役職）についての動機、背景を3つの選択肢から選んでもらい、各カードに居住年数、まちの住み心地の満足度を記入してもらい、5班のグループ分けをした。

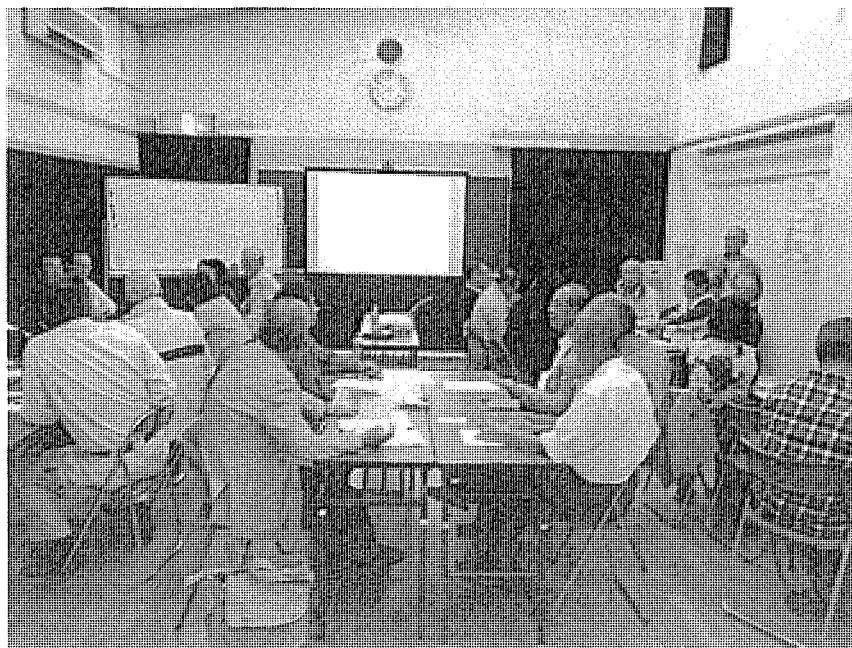
現在のポストに自ら積極的についた人はほとんどみられず、大半の参加者がこれまで活動してきた成り行きや突然の指名、順番によるもの等、やむを得ず現在の役割を担っている。



### (ウ) 組織体制の課題

地域活動の組織体制は、固定化しており新しい活動、人材を受け入れにくいものになっており、組織の見直し、再編が望まれている。

幹事会が会議も少なく機能しておらず、命令系統が見えない頭でっかちな組織になっている。



## イ 第2回ワークショップ

### (ア) 前回の振り返り（地域活動、組織）

第1回ワークショップで整理された（A）地域活動の状況、（B）組織の体制についてどのようにとらえられているのか、の説明を行った。この情報をもとに2回目は、課題の共有と問題解決への糸口を探るための話し合いの場とする。

#### ㊦ 地域活動の状況

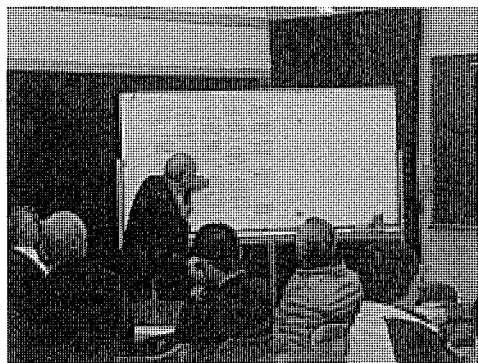
校区全体のシンボリック活動である「長谷ダム水がめまつり」があり、地域の交流ふれあいの場となっている。こうした校区行事がこれまでの慣例、実績で運営されていることで町内単位の活動の負担が少なく済んでいる。

#### ㊧ 組織の体制

幹事会の活動が見えなく機能していないという意見と共に事務局集中、おまかせで、グループ間、住民同士の連携を図る会議、交流の場が少ないと感じられている。

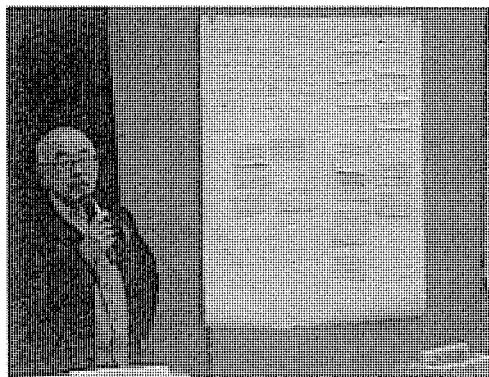
### (イ) 参加者紹介、グループ分け

参加者同士の話しやすい環境をつくるため、各自のよく食べるお気に入りの鍋を記入した参加者カードを記入してもらい、グループ分けを行った。参加者カードをもとに各グループごと参加者同士の自己紹介を行った。

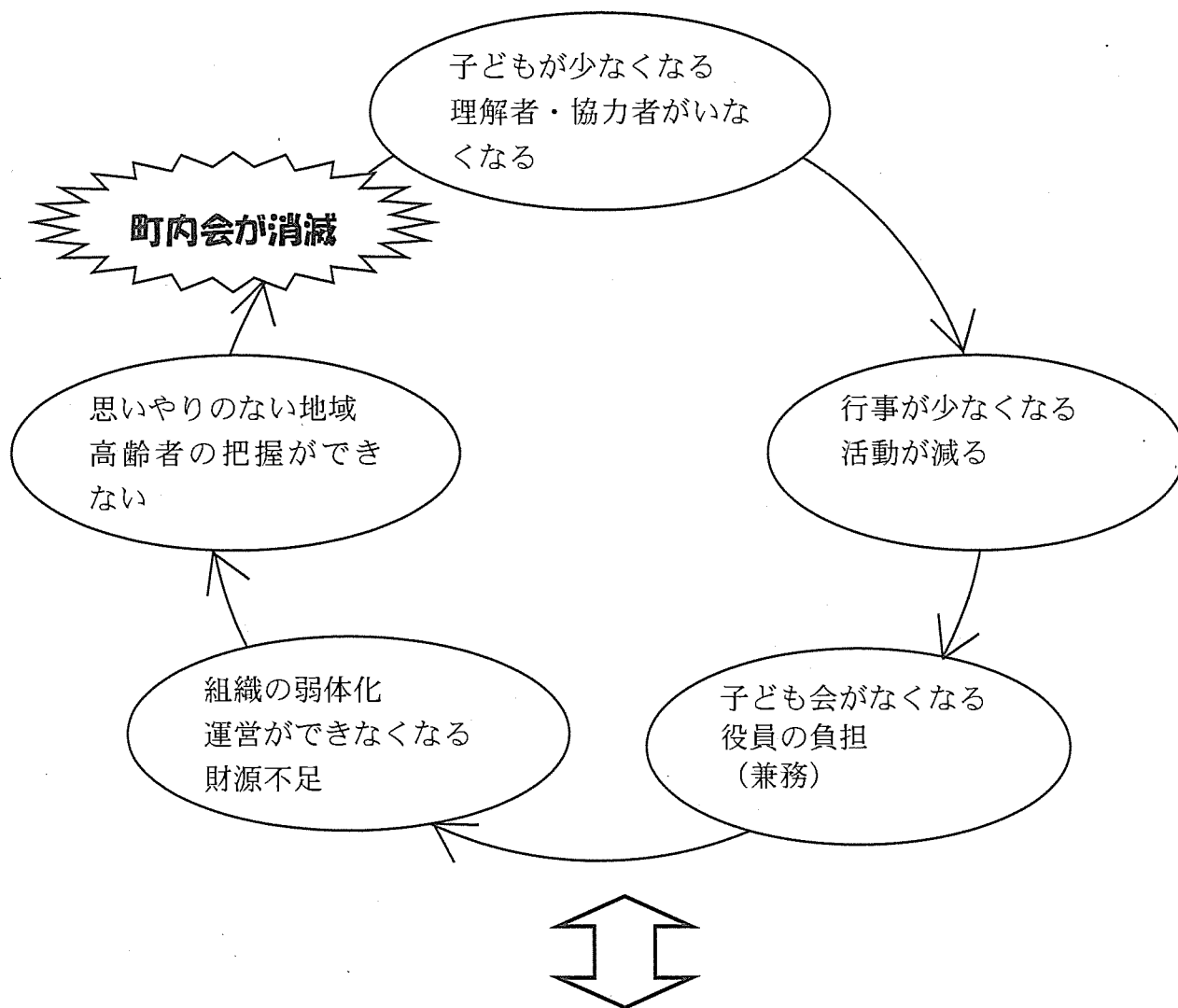


### (ウ) 香椎下原校区の置かれている状況確認

香椎下原校区は、事務局が窓口になり、校区主催の行事がこれまでの体験・実績にもとづいて行われていることから、新しい取り組みが行える柔軟性に欠けている。校区活動と町内活動のバランスの取れた取り組みがベストであるが、校区活動がしっかりやられている反面、町内活動及び新規事業への取り組みが希薄化している。こうした現状を打開するため、何らかの改善・見直しの必要性が感じられている。



## これからのストーリー



**依 存**

自分のやることではない。誰かやってくれる。

**負 担**

個人・家族主義、忙しい。

**少子高齢**

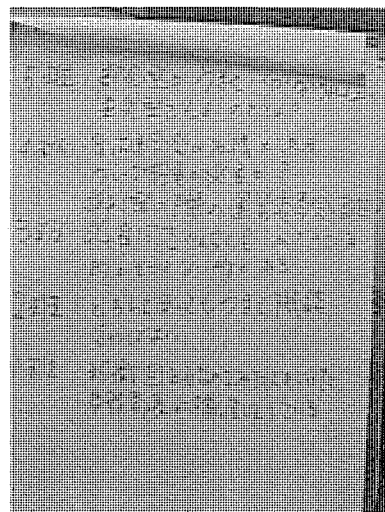
独居、高齢者所帯。

## (エ) 今後の地域の将来予測

### ㊦ 地域活動が何故必要かを問う

後継者不足、住民の無関心と地域活動は大きな課題を抱えている。市民アンケートでは、地域活動の大切さは高く叫ばれているのに何故、こうした状況にあるのか？地域活動の必要性をもう一度、問い直してみた。

住民に地域活動への関心、参加を呼びかけるためには、役員等がその必要性を自信を持って働きかけることが第一歩。地域活動の必要性を改めて問われると？



人は一人では生きていけない、助け合いが必要。

高齢化が進む現状で、お互いが知り合いであることが大切。

### ㊧ 何もしなければどうなる地域活動の未来

無関心、後継者不足が続くと、地域活動がどうなるのかの予測を行い、今後の取り組みの緊急性を共有する。

今後の最悪のシナリオ

地域活動の担い手（役員）がいなくなり、一人ひとりの責務が増す。

これまでの活動が持続できなくなる。

特に子ども会、高齢者支援等がおざなりになり、思いやりのない地域に。  
町内が消滅する。

## (オ) これからの見直しのために（原因と解決策）

### ㊦ 原因と考えられる事項

地域活動が大切と感じられながら低迷している現状がある原因は、

住民側（社会）—— 価値感の多様化      核家族化（少子高齢化）

時間不足

地域側      —— 活動のマンネリ化、報酬（ボランティア）

### ㊧ 考えられる解決策

社会構造の価値感の変化、活動自体の問題も含めて、地域がやれる活性化へのヒントとなる解決策としていく。

対話、交流の機会を増やす。（祭、集い）

役員の仕事量、行事を減らす。

情報発信、広報のあり方を考える。

若い人、商工会等共に新しい企画を考える。（アンケート）

## ウ 第3回ワークショップ（見直し，改善点の整理）

### （ア）前回の振り返り，今回のプログラム

地域活動が低迷する原因は少子高齢化や核家族化といった社会構造の変化と活動のマンネリ化に代表される周辺社会環境と活動の実態そのものがあげられた。

こうした状況を打ち破るために大きく6つの改善テーマが出された。これらテーマについて具合的な取り組みを改善策として検討し今後の取り組みのヒントとしていく。

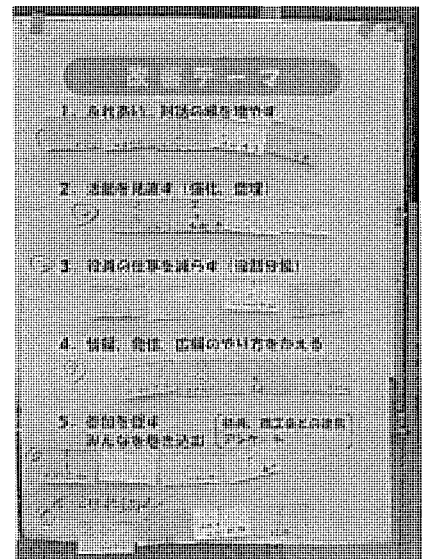
## 改善テーマ

1. ふれあい，対話の場を増やす
2. 活動を見直す（強化，整理）
3. 役員の仕事を減らす（役割分担）
4. 情報発信，広報のやり方を変える
5. 参加を促す  
みんなを巻き込む { 特典、商工会との連携  
アンケート }
6. 組織

### （イ）改善テーマの説明，グループ分け

6つの改善テーマを説明し，参加者が議論したいテーマに集まり6班を構成

- 改善テーマ
- ① ふれあい，対話の場を増やす
  - ② 活動を見直す
  - ③ 役員の仕事を減らす
  - ④ 情報発信，広報のやり方を変える
  - ⑤ 参加を促す，みんなを巻き込む
  - ⑥ 組織



### (ウ) グループディスカッション

#### ◆ 自己紹介

何故、このテーマを選んだのかを説明、テーマに対する関心、考え方を自己紹介と共に示す。

#### ◆ アイデア出し

テーマに対して改善点、ポイントを出し合い、どんなことができるのかのアイデアを自由に出し合い、その可能性をひろげる。

#### ◆ グループ移動（一人だけ席に残して他のグループへ）

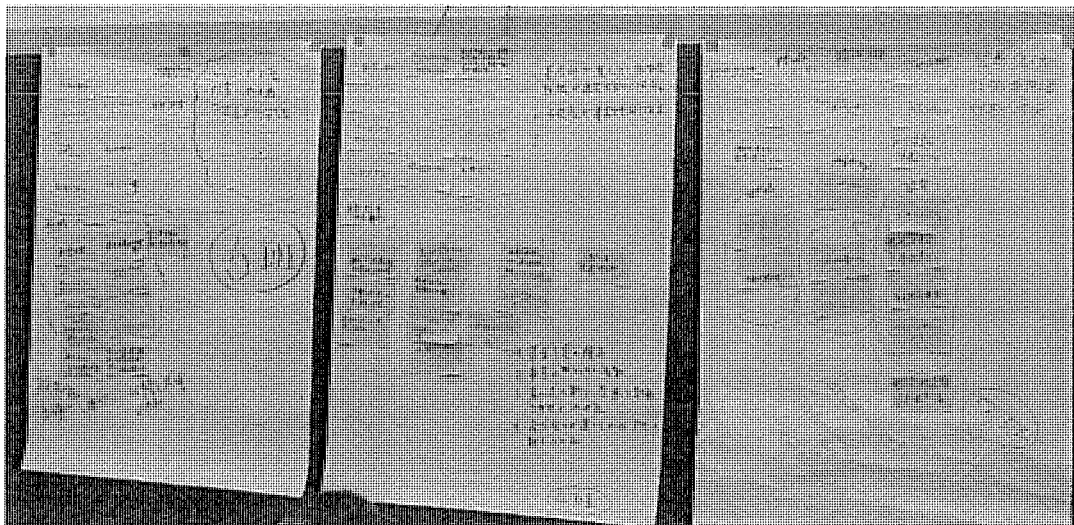
##### アイデア出し

テーブルのこれまでの議論を聞いたのちに、新しい参加者が気づいた点、ヒントを出す。

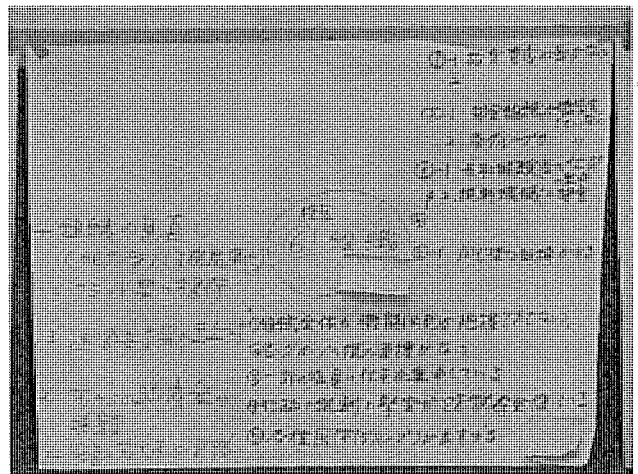
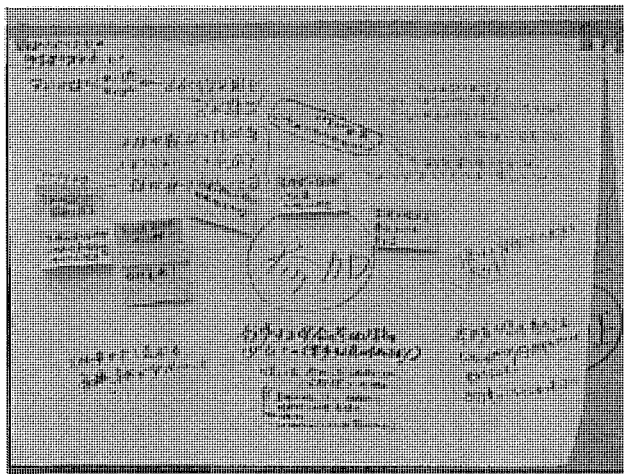
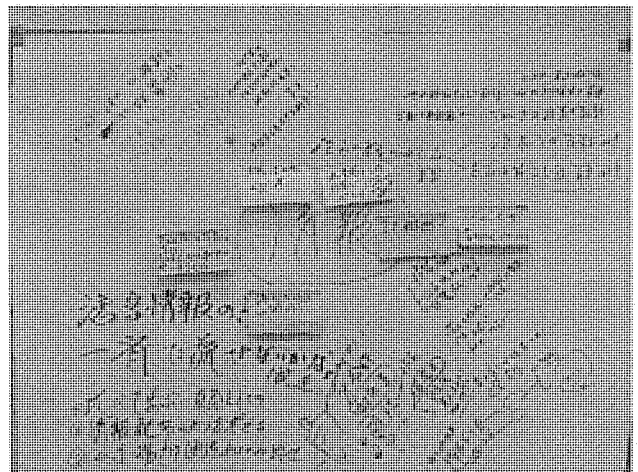
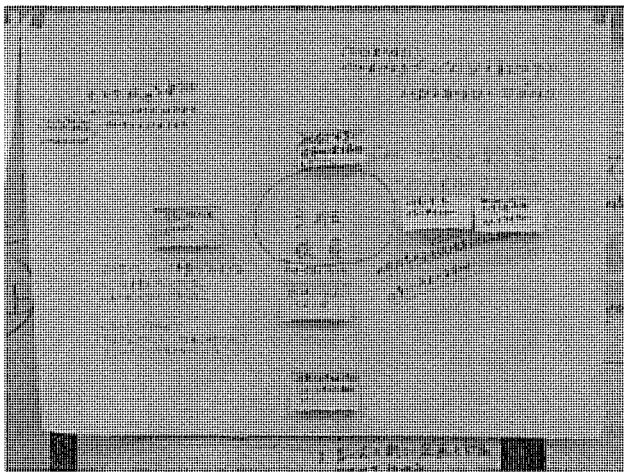
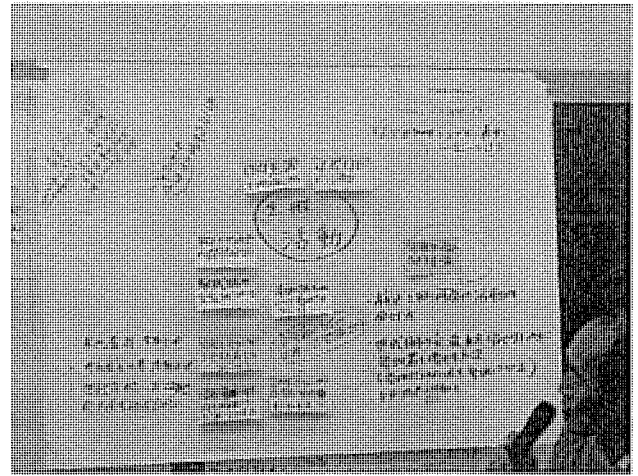
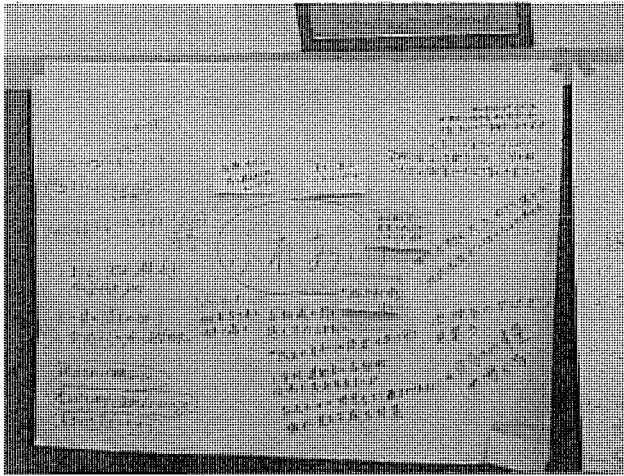


◆ グループ移動（最後のテーブルへ戻す）

2回目のグループで話された内容を参考にして、改善テーマのあるべき姿、その具体的方法を取りまとめた。



|      |   |                                                           |
|------|---|-----------------------------------------------------------|
| ふれあい | … | 各団体間・世代間の交流，会話がない。校区行事を充実する。                              |
| 活動   | … | 目的意識を明確にして，世代を超えた活動を。校区と町内の活動を分けて新しい視点を持って参加が増える取り組みを考える。 |
| 役員   | … | 特定の人に仕事が集中しないよう，みんなで平等に仕事の負担ができる組織体制の見直し。                 |
| 情報   | … | 役に立つ情報が収集できるように各町内会で工夫し，IT機器等新しいツールを導入して校区の活動を広め，発信する。    |
| 参加   | … | 行事への参加が少ない。子どもの頃から，地域との関わりを持たせる機会を設ける。                    |
| 組織   | … | 一部の役員に仕事が集中し，幹事会機能も低下，運営委員会を立ち上げ，フラット型の組織にする。リーダー育成を図る。   |



## エ まとめ

### (ア) 成果

これまで議論を避けてきた組織体制について、多くの意見交換がなされ、固定化した人事やマンネリ化した活動について積極的な改善策が出された。

特に独立した活動として見られていた各自治会間の話し合いがなされ、校区全体の活動に目を向けた自治会活動の情報交換の必要性が認識され、今後の自治体相互の連携の基盤は生まれた。

やっている人に任せて、われ関せず的になっていた校区事業の課題やあり方も話され、新しい住民、若い人を巻き込んだ活動の必要性が共有された。

### (イ) 今後の取り組み

組織の見直しのポイントが出された気づきの状況ではあるが、地域リーダーの必要性が共有されたことで、役員会で具体的な対策が提案される環境が整った。特に幹事会の見直しについては、今回、参加者から関係者への説明を随時行い、早急な対応が図れるものと思われる。

### (ウ) 取り組みに必要な作業（準備）と役割分担について

意思決定の中核をなしてきた役員会と事務局が新しい体制のあり方を示し、自治会を含めた校区全体の活動の整理が望まれる。そのためには自治会長の総意の取りまとめ、各種団体の定期的な会合の充実を図っていく。

## (2) 東 区 和 白 校 区 自 治 協 議 会

### ～より連携のひろがりのある体制づくりに向けて～

和白校区のデータ (平成 25 年 9 月 30 日現在)

|    |   |                                |
|----|---|--------------------------------|
| ○人 | 口 | 11,375 人 (男 5,450 人、女 5,925 人) |
| ○世 | 帯 | 数                              |
| ○町 | 内 | 会                              |
| ○校 | 区 | の                              |
|    | 特 | 徴                              |

和白校区は、昭和 40 年頃から周辺で大規模団地が次々と開発され、昭和 49 年に美和台校区、昭和 52 年に和白東校区、昭和 56 年に奈多校区、平成 8 年に三苦校区が分離誕生して現在に至っています。

和白小・中学校は、4 校区が分離する以前はほぼ中心に位置していましたが、現在、三苦校区寄りに位置し香住ヶ丘校区沿いの世帯は、香住ヶ丘小学校に通学しています。

校区の海岸線には野鳥が飛来する和白干潟が広がり、沖合ではアイランドシティ整備事業が進行しています。また、歴史的な塩田の跡地約 27 ha では、地権者約 130 名の「新開土地区画整理組合」が設立され、今後の土地活用等について協議が行われています。

平成 24 年 3 月 10 日にオープンした塩浜 3 丁目の福岡工業大学塩浜総合グランド (FIT スタジアム) では、大学の硬式野球部が活動しているが、広く地域への利用も可能としており、校区と大学との交流の広がりが期待されています。

#### ① テーマの選定及びその背景

和白校区は、集合住宅、戸建住宅が混在する郊外住宅地であり、伝統的な集落地域と新たな住宅地においてそれぞれの地域特性に合わせた地域活動が展開されています。

各町内会ごとの活動となる夏祭りやイベントが活発で不足する町内会相互の連携、交流を促す校区全体での活動のひろがり求められつつあります。

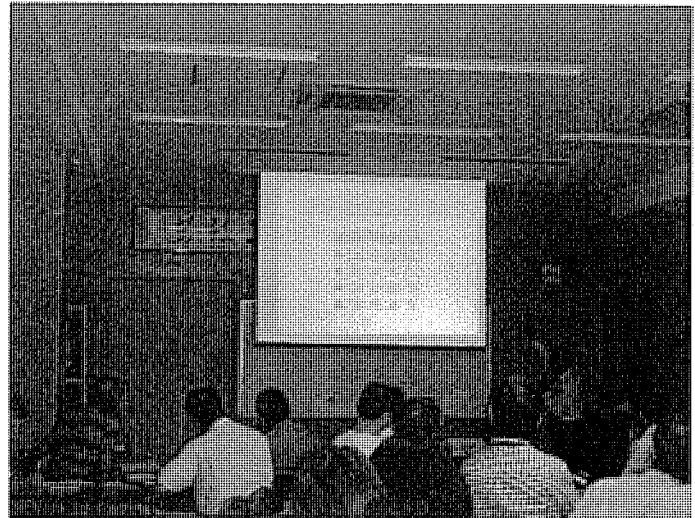
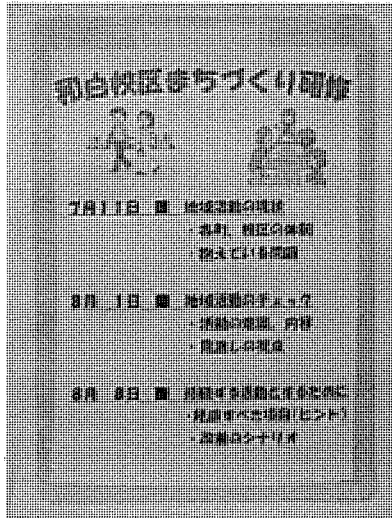
現在、今後予想される地域活動の停滞、衰退を招かないように各町内会と校区のバランスのとれた地域活動を継続、実施し、地域住民の助け合い、支え合える各組織、団体の連携ある取り組みが求められています。

#### ② ワークショップの開催状況

外部講師として、十時 裕氏 (福岡市地域活動アドバイザー) をお招きし、各町内会及び自治協議会の役員等の参加によるワークショップを計 3 回和白公民館で開催しました。

|       | 日        | 時           | 主 な 内 容      | 参加数  |
|-------|----------|-------------|--------------|------|
| 第 1 回 | 7/11 (木) | 19:00~21:00 | 地域活動の現状      | 29 人 |
| 第 2 回 | 8/ 1 (木) | 19:00~21:00 | 地域活動のチェック    | 20 人 |
| 第 3 回 | 8/ 8 (木) | 19:00~21:00 | 継続する活動とするために | 18 人 |

## ア 第1回ワークショップ



### (ア) 対話のまちづくりのすすめ（情報提供）

価値観の多様化、社会構造の変化に伴い市民が目的を共有して一体的な活動をすすめていくためには、これまで以上に人と人との触れ合い、知り合うことが必要となってきました。

特に、同じ地域にいる住民という関係で成り立っている地域組織が今後、共に助け合い、支え合いその活動を継続、維持されていくには対話のある地域をつくっていく必要があります。

### (イ) グループ分け

参加者全員が町内会長、その他のリーダー（男、女）別にポストイットに居住年数、住みごこち度を記入した参加者カードを作成し、各町内の参加者がバラバラになるように5班に班分けを行いました。

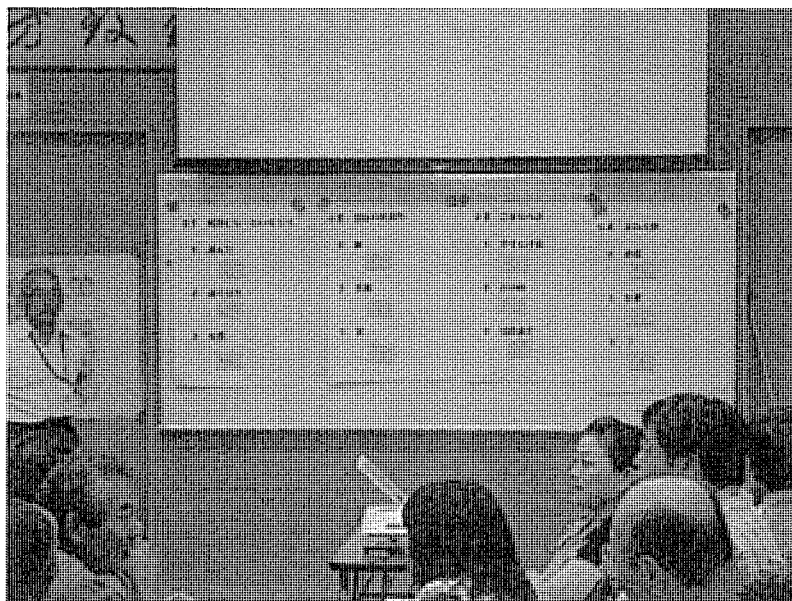
グループに分かれたのち多くの自由で創造的意見を引き出す、話しやすい環境づくりのために参加者カードをもとに自己紹介を行い、グループ内での相互理解、関係づくりを行いました。

### (ウ) 関係づくり（リーダー意識の把握）

参加者がより良い関係で話し合っていけるようそれぞれがどんなポジションにいて、どんな考えに立っているかを旗揚げ、アンケートを行いました。

- 設問は
- ① 現在の役に付いたいきさつ。
  - ② 現在の役員としての活動の状況。
  - ③ 今後の目標、到達点は？
  - ④ 後継者を見つけているか？

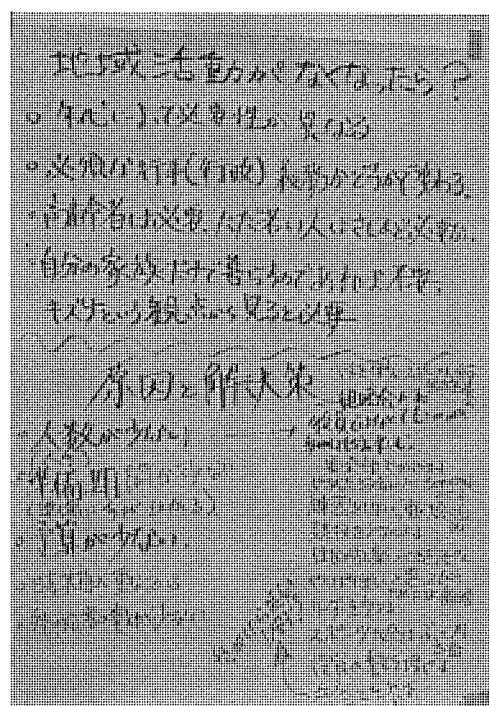
その結果、参加者の多くは進んで現在の役に付いてはいないものの実際やってみると楽しいと実感もあり、今後、ある目標まで達成するまで活動が続けるという意気込みが感じられました。役に付いてみると相応のやりがいが見出せているようですが、後継者を見出している人は約半数にも達していませんでした。



## (エ) 地域活動は大切ですか

まず地域活動が有する問題を直視するため「地域は大切ですか」という質問を投げかけ、参加者の意見交換を行いました。地域活動の今後のあり方を検討するにあたっては、活動の意義、目的を今一度、共有することから始めその問題点、解決策に迫っていこうとするものです。

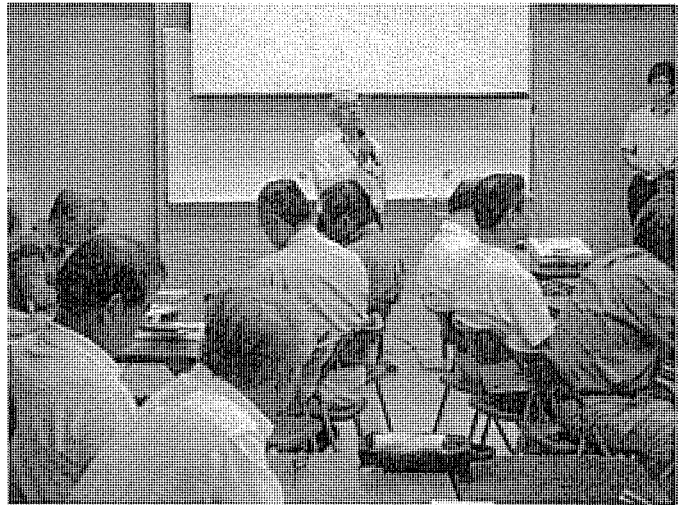
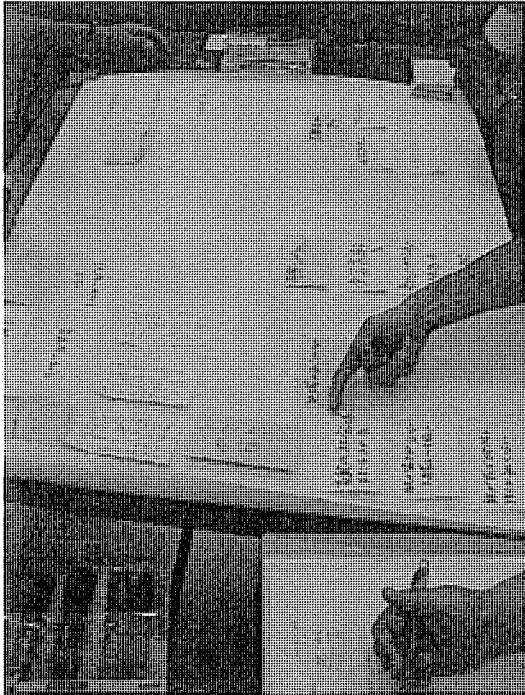
これまでやるのが当然のように習慣化していた地域活動が何のためにやっているかは意外に共有されておらず、あたたためてこの問題を考えることで地域活動への関心度を高めていくことができました。



### (オ) 直面している問題点の洗い出し

各町内がミックスされた5つのグループが町内の現状を出し合い、意見交換し、地域活動が直面する問題点を洗い出し整理しました。

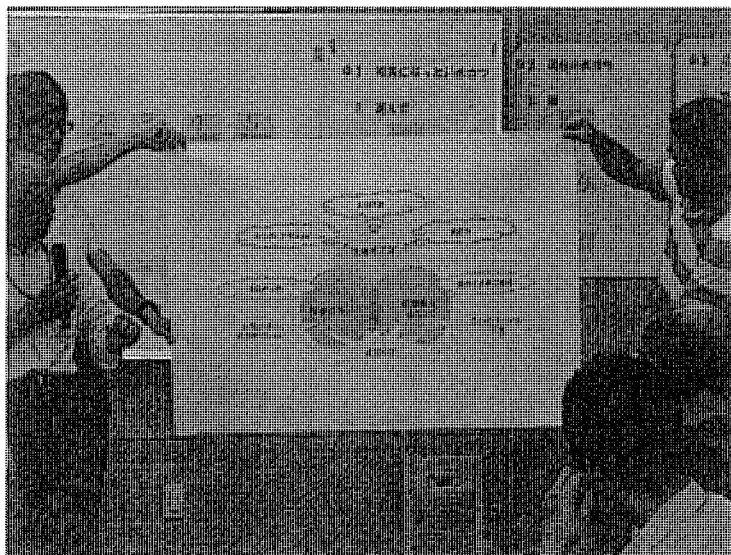
参加者が感じている共通の問題点は、地域活動のひとつひとつの事業にかかる労力、作業量、事業の数が多いということ、また、それぞれの事業にかかる準備、練習等が慣例化して、その時間を取られていることが全体のモチベーションを下げているという指摘がありました。



## イ 第2回ワークショップ

### (ア) 前回の振り返り

第1回ワークショップでは、地域活動への関心不足や後継者不足の主たる原因として、事業、役員、住民の仕事量の多さが共通の課題となっており、何らかの見直し、改善の必要性があげられた。



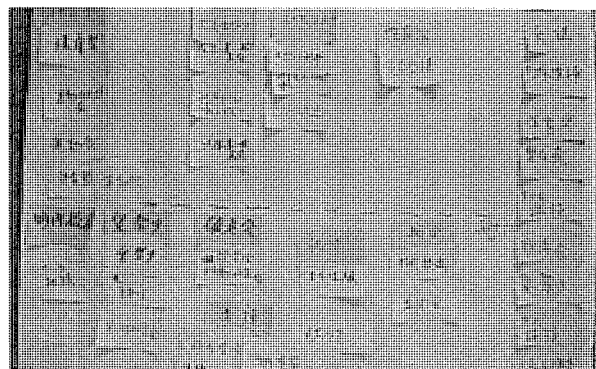
### (イ) 関係づくり

各町内会、各種団体の役員からなる参加者がこれからの校区活動を連携して進めていくために仲間づくりにつながるように新たに5つのグループをつくりました。

### (ウ) 地域活動のチェック

町内ごとに特徴を持つ地域活動を校区全体で見直すために各町内活動と校区行事の振り分けを行いました。町内活動はそれぞれの地域の変遷、伝統に裏付けされた町内活動が活発に行われている傾向が見て取れました。校区全体の活動はスポーツ、レクリエーションが多く、今後、夏祭り、敬老会等町内でバラバラにやられているものの見直しの必要性があげられました。

| 会 議    |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| (体育祭)  | (体育祭)  | (青柳)   | (体育祭)  |
| (祭)    | (祭)    | (体育祭)  | (敬老会)  |
| (敬老会)  | (青少年部) | (青少年部) | (青少年部) |
| (青少年部) | 子供の球技  | 子供の球技  | (子供)   |
| (子供)   | (子供)   | (敬老会)  | 子供の球技  |
| 大人の球技  | どんと    | (祭)    | 大人の球技  |
| 子供の球技  | もちつき   | 大人の球技  | (祭)    |

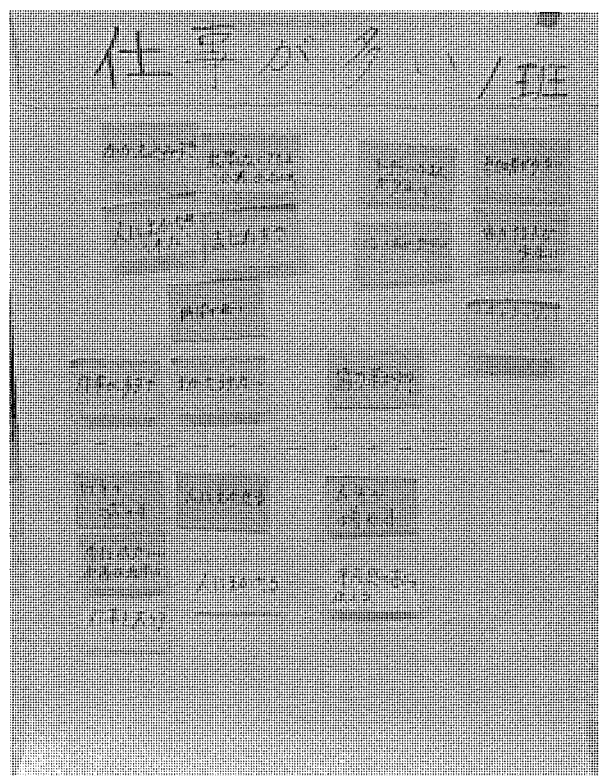
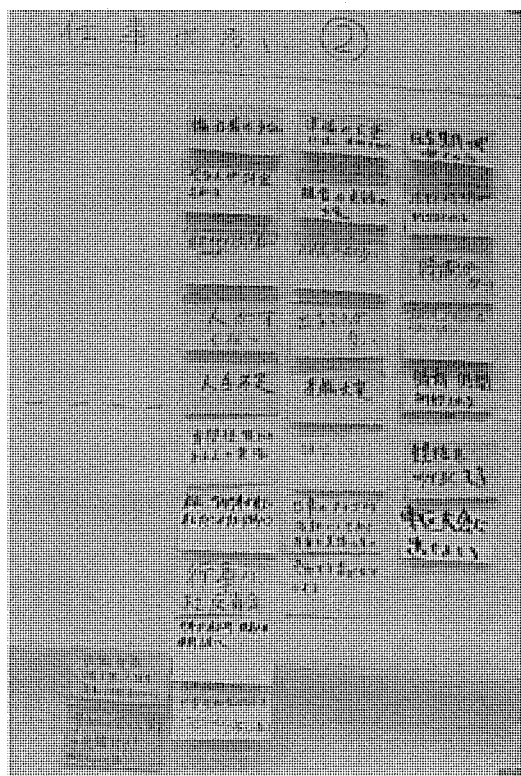


## (エ) 課題解決の方向を探る

第1回目ワークショップで整理された主要な課題ごとにその原因を探り、解決策のアイデア出しを行いました。原因と解決策の相関を表は、以下のようにまとめられました。

| 原 因     | 解 決 策                                                                                                                 |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 仕事が多すぎる | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員の仕事を減らす。</li> <li>・ 町内活動を減らす。</li> <li>・ 人に任せる。</li> </ul>                 |
| 準備等の労力  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役割分担。</li> <li>・ スポーツ行事を検討する。</li> <li>・ 打ち合せ、段取りをシンプルに。</li> </ul>          |
| 人手不足    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 達成感の喜びを伝える。</li> <li>・ 役割分担</li> <li>・ 楽しさをアピール</li> <li>・ 手当を払う。</li> </ul> |

主要な課題をつくっている原因に各活動に必要な以上の手間、時間が特定の役員等に集中しているという指摘があり、こうした根本的な原因を解決する方法が話し合われました。



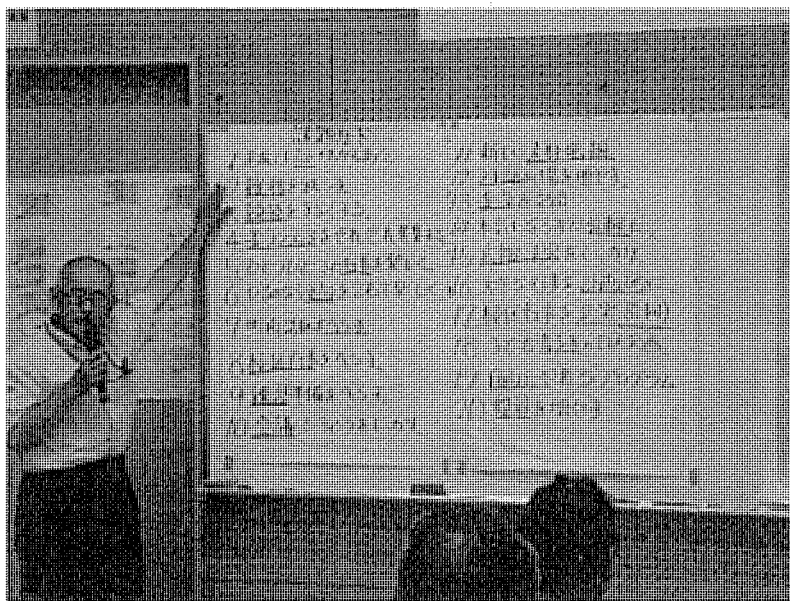
## ウ 第3回ワークショップ

### (ア) 前回の振り返り

前回では課題を分析して、それが起こっている原因と解決策を整理することができました。この解決策を吟味していくことで具体的な新しい活動につなげていく取り組みを考えている時期がきているという共通認識でまとまりました。

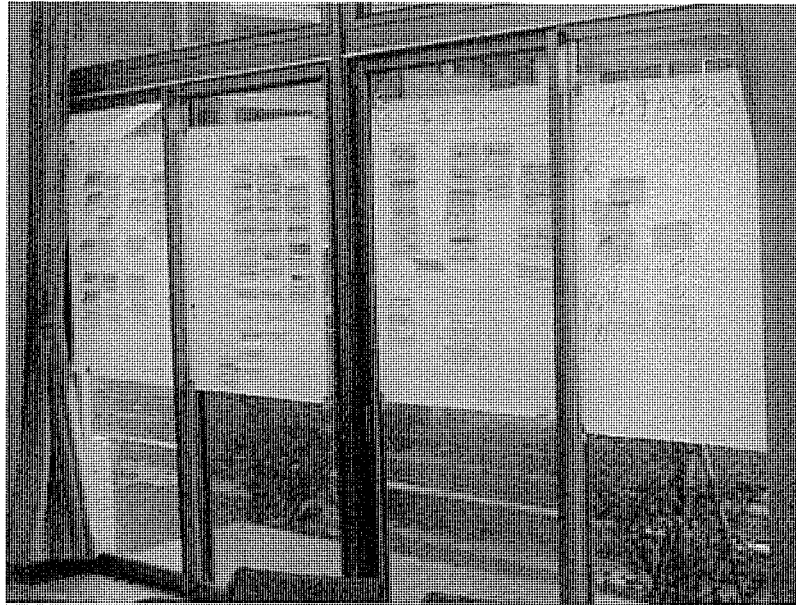
### (イ) グループ分け

これまでのワークショップで出された意見をもとに20に整理された課題カードから参加者が重要と考えるテーマを選択し、そのテーマ別にグループに分かれて具体的な取り組み、アイデアを引き出しました。



テーマ一覧表

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 達成した喜びを分かち合う    | 11. 新しい人材発掘      |
| 2. 雑務を減らす          | 12. 対話の場を増やす     |
| 3. 競技を少なくする        | 13. 手当を支給        |
| 4. ボランティアをそれぞれ募集する | 14. 本気にならずに気軽に   |
| 5. ひとつひとつの行事を楽しく   | 15. 広報、PRをしっかり   |
| 6. やるのなら文句を言わず楽しく  | 16. 大きな行事を計画的に   |
| 7. 町内活動を減らす        | 17. 校区行事を充実      |
| 8. 校区行事を減らす        | 18. 子どもと青少年の自主企画 |
| 9. 練習整備を減らす        | 19. 自由にやれるプログラム  |
| 10. 会議、ミーティングをしない  | 20. 役員を増やす       |



### (ウ) 今後の取り組み（全体方針）

地域活動の活性化に向けては、(A) 仕事量の軽減、(B) 楽しみを増やす (C) 新しい人材、ボランティア等が選択され、それらテーマに沿った解決策が話し合われました。

#### ㊦ 仕事量の軽減

- ・事業の内容、意味を今一度、検討し、地域に必要な活動を絞り込む。
- ・準備や練習に時間がかかっているのを見直す。

#### ㊧ 楽しみを増やす

- ・お誘いや広報をひろく伝える。
- ・やった事の結果をできるだけ多くの人に楽しく伝える。

#### ㊨ 新しい人材、ボランティア

- ・あて職のように役員を事業に割り当てるのではなく、その事業ごとにボランティアを設けて、やれる人がやれることを自由に。

### (エ) 具体的取り組み（町内別）

今後の取り組み（全体方針）を受けて、町内別の具体的にこれからの事業、活動をいかに改善すべきかが議論されました。全体方針で指摘された3つのポイントをクリアーしてみんなが参加していく地域活動としていくための改善点としては

- 全事業に役員等限られた人が動員をかけられてくるのではなく、行事ごとにボランティアを募り一人一人の負担を軽減する方法が必要
- 校区行事と町内行事との調整を図り無駄のない人出がダブらない地域活動を調整する
- 行事、事業が終わった後には反省会、振り返りを行い、次回に向けてステップアップする進化する活動めざし、マンネリ化を防ぐ
- 事前の情報通達、報告、広報を時間の余裕をもって行い、いろいろな人が参加できる環境、情報を伝えていく。

|    |  |  |      |
|----|--|--|------|
| 1. |  |  | 和自1区 |
| 2. |  |  | 和自2区 |
| 3. |  |  | 和自3区 |
| 4. |  |  | 和自4区 |
| 5. |  |  | 和自5区 |
| 6. |  |  | 和自6区 |
| 7. |  |  | 和自7区 |
| 8. |  |  | 和自8区 |

① 和自1区  
和自2区

② 和自3区  
和自4区

③ 和自5区  
和自6区

④ 和自7区  
和自8区

人材記録

体育委員  
11月22日

和自1区  
和自2区  
和自3区

和自4区  
和自5区  
和自6区  
和自7区  
和自8区

和自1区  
和自2区  
和自3区  
和自4区  
和自5区  
和自6区  
和自7区  
和自8区

和自1区  
和自2区  
和自3区  
和自4区  
和自5区  
和自6区  
和自7区  
和自8区

